消 防 年 報

第 69 号

令和６年版

豊川市消防本部

は　し　が　き

　この年報は、令和６年中における豊川市消防本部管内の消防現況を広く紹介するとともに、将来の資料にすることを目的として編集しました。

　この統計は、特に記載してあるものを除き、令和６年１２月３１日現在をもって収録しました。

豊川市消防本部

令和6年中　豊川市内の災害動向

【火災】

火災件数	38件	前年比	4件 減少（△9．5%）
うち建物火災件数	17件	前年比	8件 減少（△32%）
火災による死者数	1人	前年比	1人 増加

【救急】

救急出動件数	9，501件	前年比	65件 増加（0．7%）
うち種別が急病件数	6，766件	前年比	72件 増加（1．1%）
救急搬送人員	8，796人	前年比	34人 減少（△0．4%）
うち年齢区分が高齢者	5，662人	前年比	171人 増加（3．1%）
現場到着所要時間	平均 8．5分	前年比	0．4分 減少（△4．5%）
病院収容所要時間	平均32．0分	前年比	0．9分 減少（△2．7%）

【救助】

救助件数	137件	前年比	28件 減少（△17%）
救助人員	95人	前年比	93人 減少（△49．5%）

【通信　119番通報】

固定電話	2，117件	前年比	44件 減少（△2%）
携帯電話	7，112件	前年比	119件 減少（△1．6%）
IP電話	3，275件	前年比	118件 減少（△3．5%）

【消防団】

団員数	590人	前年比	6人 増加（1%）
団員年齢	平均40．4歳	前年比	3．3歳 増加（8．9%）
勤続年数	平均11．7年	前年比	1．9年 増加（19．4%）

目　　　次

管内情勢

豊川市の概況……２
消防管轄区域及び消防機関配置図……３
消防の沿革……４

消防情勢

消防本部・消防署・消防団の機構……２２
消防本部（署）事務分掌……２３
歴代消防長・消防署長……２６
消防本部（署）の現勢……２７
消防職員勤続年数表……２８
消防職員の年齢表……２８
消防職員各種免許取得状況……２９
一般会計予算及び消防予算（当初予算）……２９
現有消防力の配分率表……３０
消防相互応援協定の状況……３１

消防施設（装備・水利）

消防本部（署）の位置・庁舎の概要……３４
消防機械一覧表……３５
機械器具等一覧表……３７
東三河消防通信指令事務協議会「東三河消防指令センター」……３８
通信指令回線一覧……３８
通信指令設備一覧（東三河消防指令センター）……３９
防災設備の状況……３９
無線設備の状況……４０
現有常備消防力との基準の比較……４１
消防水利一覧表……４１

予防統計

予防査察実施状況……４４
火災予防条例等による届出件数……４５
防火教室等実施状況……４６
防火対象物用途別状況……４７
消防用設備等検査実施状況……４８
消防用設備等設置状況……４９
中高層防火対象物階別状況……５１
用途・月別建築同意件数……５２
危険物規制対象施設数・製造所等事務処理件数……５３
校区別危険物施設一覧表……５４

火災統計

火災発生状況……５６
火災の覚知区分状況……５７
校区別火災件数……５７
用途・月別火災件数……５８
時間別･原因別火災発生状況……５９
５年間の火災発生状況……６０
月別火災出動車両及び人員……６１
その他災害出動件数内訳……６２
救急支援の詳細別件数……６２

救急統計

月別救急事故出動件数及び搬送人員……６４
曜日別救急出動件数……６４
年齢区分別搬送人員……６５
傷病程度別搬送人員……６５
覚知別救急出動件数……６５
校区別救急出動件数……６６
時間別救急事故発生件数……６６
現場到着所要時間別出動件数の状況……６７
収容所要時間別搬送人員の状況……６７
救急隊員による応急処置の状況……６８
全出動件数に占める救急救命士の出動件数……６９
心肺機能停止傷病者に対する救急救命士隊出動件数と医師の具体的指示により行う救急救命処置（特定行為）実施率……６９
医師の具体的指示により行った心肺機能停止傷病者に対する救急救命処置（特定行為）別数……６９
応急手当普及啓発活動……７０
講習別件数及び人数……７０

救助統計

事故種別救助出動状況……７２
月別出動件数・活動件数及び救助人員……７２
地区別救助件数……７２
発生場所別救助件数……７３
傷病程度別救助人員……７３

通信・気象統計

固定電話１１９番受信状況（第２通報等含む）……７６
携帯電話１１９番受信状況（第２通報等含む）……７６
ＩＰ電話１１９番受信状況（第２通報等含む）……７６
緊急通報システム受信状況……７７
気象観測……７７
１日の降水量５０mm以上と当日の気象状況……７８
１時間の降水量３０mm 以上と当日の気象状況……７８

消防団

消防団現勢……８０
消防団員年齢表……８１
消防団員勤続年数……８１
消防団員報酬……８１
消防団員退職報償金……８２
消防団詰所の概要……８３
消防団火災出動状況……８５

その他

消防音楽隊……８８
あき地等に繁茂した雑草等の処理状況……８９
民間防火防災組織結成状況……９０

管　内　情　勢

豊川市の概況

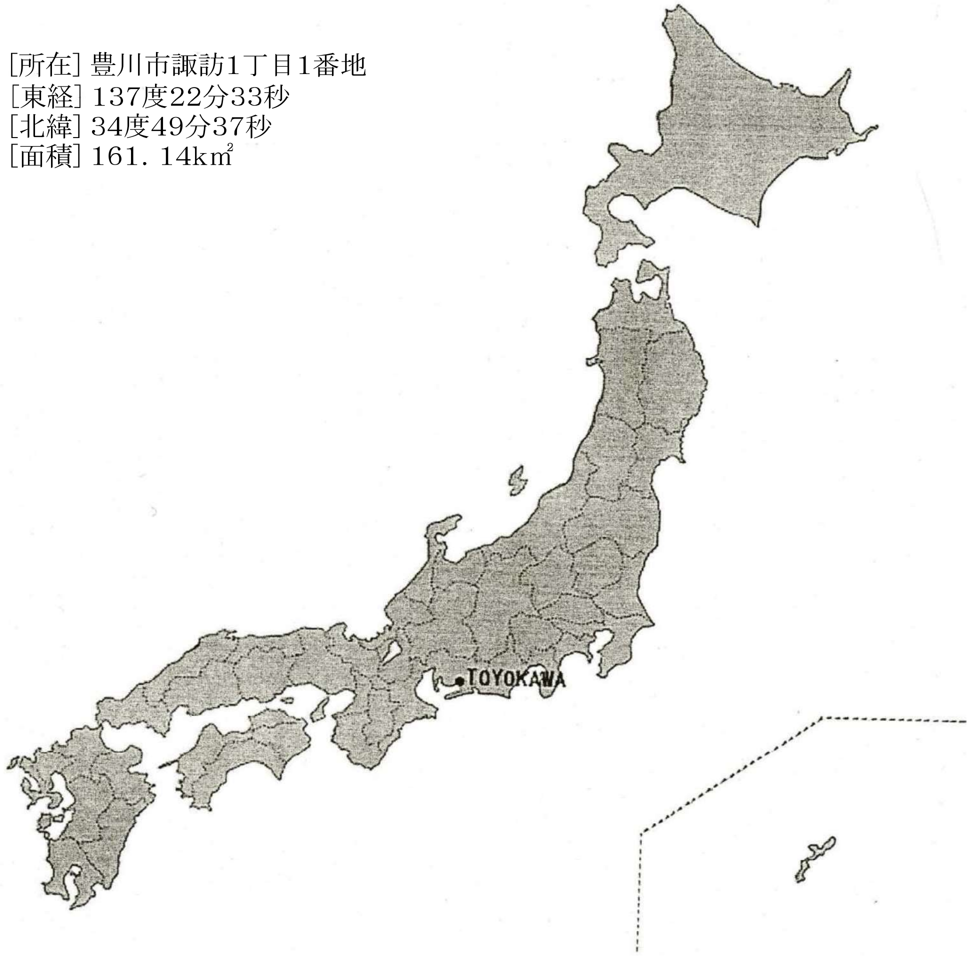
１．豊川市の概況

豊川市は、愛知県の南東部、東三河地方に位置する人口約１８万人の都市です。地域は、豊橋市、岡崎市、蒲郡市、新城市と接し、北部には三河山地南端の山ろく、東部には１級河川の豊川（とよがわ）があり、その間は、平たんな洪積台地と沖積平野が広がり、三河湾に面しています。

交通網として幹線道路は、東名高速道路が東西を貫き、国道１号・２３号・１５１号・２４７号が縦横に走っています。特に東名高速道路は、豊川インターチェンジと音羽蒲郡インターチェンジが、それぞれ国道１５１号と１号で接続しています。

鉄道は、名鉄本線・豊川線、ＪＲ東海道新幹線、ＪＲ東海道本線、飯田線が敷設され、道路・鉄道の要衝地域です。

市の位置 [所在] 豊川市諏訪1丁目1番地
（市役所） [東経] 137度22分33秒
[北緯] 34度49分37秒
[面積] 161. 14k㎡



２．管内の世帯数・人口・面積

令和７年４月１日現在

区　分	世帯	人　口			面　積(k㎡)
		総数	男	女	
豊 川 市	82,715	185,441	92,348	93,093	161.14

人口は住民基本台帳人口

消防管轄区域及び消防機関配置図

消防の沿革

昭和２３年	３月　７日	消防組織法（昭和２２年１２月２３日公布、附則昭和２３年３月７日施行）によって自治体消防となると同時に消防本部設置、当時消防団現勢４団（豊川、牛久保、国府、八幡）２０分団
昭和２４年		国府消防団に久保分団設置
昭和２５年		豊川市消防団に北金屋、牧野、三谷原分団設置、総計４団２４分団１，０５５人
昭和２９年	４月２６日	水槽付消防ポンプ自動車購入（積載水量１，５００㍑）、消防本部に配備
	１２月　１日	消防本部独立、専任消防長を置く
昭和３０年	２月　１日	消防署発足、消防長以下２５名
	３月　４日	消防ポンプ自動車を平尾分団に配備
	４月　１日	従来の４団制を豊川市消防団に改組、１分団３０名に縮小、同時に牛久保分団１分団増設、総計１団２５分団７５４人
	１２日	三上村合併により三上分団加入、２６分団７８４人
	５月　３日	三蔵子分団に手引ガソリンポンプを配備
	７月１２日	豊川市危険物安全協会設立
	２０日	千両分団に手引ガソリンポンプを配備
	８月　２日	消防本部新庁舎が市田町諏訪新畑４７－１７に完成、鉄筋コンクリート造一部木造２階建１８６．４５㎡、延べ２０９．５５㎡
昭和３１年	２月　６日	三谷原分団に手引ガソリンポンプを配備
	３月　１日	豊川第３分団に手引ガソリンポンプを配備
	３日	麻生田分団に手引ガソリンポンプを配備
	３１日	豊川市防火委員会設立
昭和３２年	９月１６日	消防ポンプ自動車購入、消防署に配備
昭和３３年	４月　１日	１分団１ポンプ制実施
	１２月　１日	国府町流霞１３３に消防署西部出張所開設、職員１名交替制、消防ポンプ自動車１台を配備
昭和３４年	４月　１日	消防吏員２名増員、消防長以下２７名 御油町合併、御油分団加入、２７分団８１４人 諏訪分団の手引動力ポンプを廃止し、消防署の行う消火活動及び通信事務補助の新任務に就くことになった
	１０月　１日	諮問機関として消防合理化研究会設立
昭和３５年	３月２５日	昭和３４年１０月から合理化研究会において研究された具体計画が定例市議会において可決、昭和３５年４月以降実施となった合理化は、消防団員の減員と委託消防ポンプ自動車の更新の２点で、団員

		については１団２７分団８１４人を、昭和３５年度において１団２６分団６５９人とし、昭和３６年度において１団２６分団５２４人委託消防ポンプ自動車とは、終戦直後本市が海軍工廠から４台払下げを受け、豊川、牛久保、国府、八幡の分団に運営管理を委託したものであるが、本市の防災上から言って全市を活動範囲としているものであり、すでに老朽車となり更新しなければならなくなったので、関係方面の特別の協力を得て４年計画で更新することになった
	８月　５日	豊川ロータリークラブから救急車が寄贈され救急業務を開始する
	１１月　１日	消防吏員２名増員、消防長以下２９名
昭和３６年	２月	豊川分団消防ポンプ自動車更新
	１１月	国府分団消防ポンプ自動車更新
	１１月　７日	普通消防ポンプ自動車（２号車）購入、消防署に配備
	１１月	防火講演会開催「都市防火と豊川市の防火診断」と題して、東北大学教授工学博士藤田金一郎先生の講演会が日本損害保険協会の後援で開催された
昭和３７年	１月	消防吏員１名増員、消防長以下３０名
	３月　１日	消防吏員２名増員、消防長以下３２名 豊川町武通４２に消防署東部連絡所開設（鉄筋スレート造平家建１６２．６８㎡職員１名交替制）
	２７日	日本損害保険協会から中型消防ポンプ自動車（Ａ－２）が寄贈され八幡分団に委託した
	３１日	古宿分団を廃止、自警組織となる
	９月２５日	牛久保分団、消防ポンプ自動車更新、以上合理化研究会による消防団消防ポンプ自動車更新計画完了
	１０月２５日	消防署庁舎会議室を増築（１２３．９㎡）
昭和３８年	４月　１日	消防吏員２名増員、消防長以下３４名
	１１月　１日	消防用無線開局
昭和３９年	４月　１日	消防吏員８名増員、消防長以下４２名
	１１月　２日	西部出張所の１人交替制から４人、消防車１台の常駐制となる
	１２月　７日	消防合理化委員会を設置、その基本計画は昭和４４年度を目標に消防本部・署の充実強化、東部連絡所の昇格、牛久保地区への連絡所開設、また、消防団の少数精鋭化、待遇の改善、団員の地位向上を図ることになった
昭和４０年	１月２０日	御油分団を廃止、自警組織となる
	３月３１日	北金屋分団を廃止、自警組織となる
	４月　１日	消防吏員３名増員、消防長以下４５名
	３０日	白鳥分団を廃止、自警組織となる。これにともない１団２２分団４４４人

	６月　１日	毎月１９日を「防火デー」と制定
	８月２８日	救急車購入
昭和４１年	１月　６日	豊川市消防出初式会場において、豊川ロータリークラブから赤バイ（ホンダドリーム）が寄贈された
	３１日	国府町上坊入４５−１に西部出張所新庁舎完成（鉄筋コンクリート造平家建１４０．９４㎡）
	３月	桜町、久保、三谷原分団廃止、自警組織となる
	４月　１日	消防吏員２名増員、消防長以下４７名
	９月１０日	消防ポンプ自動車購入､西部出張所配備
	１１月１０日	指令車購入（ニッサンジープ）
昭和４２年	２月　１日	消防吏員４名増員、消防長以下５１名
	３月　１日	消防吏員６名増員、消防長以下５７名
	３１日	為当分団を廃止、自警組織となる
	４月　１日	東部連絡所を出張所に昇格、消防ポンプ自動車１台、職員４人配置 牛久保町大手５６に南部連絡所開設、職員１人交替制
	５月	三上分団に小型動力ポンプ付積載車を配備
	９月　１日	少年消防クラブ結成
	１０月３０日	水槽付消防ポンプ自動車購入（水Ｉ−Ａ型、積載水量２，０００ﾘｯﾄﾙ）
昭和４３年	３月１６日	連絡車（スズライト）購入
	３月	豊川第１、豊川第２、牧野、中条、市田、八幡分団を廃止、自警組織となる。１２分団２４４名
	４月　１日	予防係専従制開始。消防吏員４名増員、消防長以下６１名
	７月２４日	千両分団に小型動力ポンプ付積載車を配備
	３０日	豊川市自衛消防隊連絡協議会発足（５７事業所）
	７月	消防署、署員待機室を増築
	１２月	東部出張所署員仮眠室、救急車車庫新築
昭和４４年	１月　１日	消防吏員６名増員、消防長以下６７名
	２７日	日本道路公団から東名高速道路上における救急業務を処理するための救急車１台が貸与され、東部出張所に配備
	２月　１日	東部出張所に救急要員６人配置し、東名高速道路の救急業務を開始する
	３月	下長山分団を廃止、自警組織となる　１１分団２２２名（副団長３人制を１人制に改正）
	４月１７日	雑草刈り取り用トラック（ニッサンキャブオール）購入
	１１月１６日	屈折はしご付消防ポンプ自動車（１５ｍ級ボリュートＡ−２）購入、消防署に配備 水槽付消防ポンプ自動車（Ａ−２、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）購入、東部出張所に配備

昭和４５年	３月２６日	麻生田分団廃止、自警組織となる　消防団１０分団２０２人
	４月　７日	連絡車の寄贈を受ける
	５月　１日	平尾分団に小型動力ポンプ付積載車を配備
	２０日	東名高速道路、その他大災害時における患者搬送用として、大黒商事株式会社会長近藤保美氏より大型救急車が寄贈され、消防署に配備
	１１月２７日	オートバイの寄贈
昭和４６年	４月　１日	消防吏員３名増員、消防長以下７０名となる
	１１月　８日	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車が寄贈された
昭和４７年	４月　１日	消防吏員２名増員、消防長以下７２名
	８月２６日	救急車（３Ｂ型）購入 当古分団に小型動力ポンプ付積載車を配備
	１２月１９日	中部ガス株式会社から予防広報車（スズキフロンテ）が寄贈された
昭和４８年	１０月　８日	消防団組織の合理的な維持、運営を図るためその実態を検討し、組織及び運営等の改善に関する基本方針について審議するため、消防審議会が設置された　答申に基づいて昭和４９年度から消防副団長２人制となり、総員２０３人団員全員に甲種衣が貸与された
	２５日	三蔵子、下郷分団の小型動力ポンプ付積載車を更新
	１２月　８日	豊川ライオンズクラブから大型水槽車（積載水量６，０００㍑）が寄贈され、消防署に配備
昭和４９年	２月１５日	豊川市危険物安全協会から指揮車（ニッサンセドリック）が寄贈された
	４月　１日	消防吏員１名増員、消防長以下７３名
	５月２２日	豊川市自警団連絡協議会発足（１８自警団）
	１０月３１日	救急車（３Ｂ型）購入、東部出張所に配備
昭和５０年	１２月　４日	豊川分団、消防ポンプ自動車（ＢＳ－Ⅰ型、Ａ－２）更新
昭和５２年	１月１８日	消防署、消防ポンプ自動車（２号車、３段タービンＡ－２）更新
	５月１０日	消防庁舎建設のため、仮庁舎として市内西桜木町鈴木自動車㈱鈴豊寮の一部を借用し移転する
	１０月　７日	当古、三蔵子分団の小型動力ポンプ更新
	１５日	ロック工業㈱から連絡車（ニッサンバイオレットバン）が寄贈された
昭和５３年	２月　９日	日本損害保険協会から救急車（３Ｂ型）が寄贈され、西部出張所に配備
	１８日	国府分団、消防ポンプ自動車（ＢＳ－Ⅰ型、Ａ－２）更新
	３月１０日	消防新庁舎完工式を挙行、仮庁舎より新庁舎（鉄筋コンクリート造３階建延面積１，６３３．２２㎡）に移転し業務を開始
	４月　１日	消防吏員５名増員、消防長以下７８名
	５月２６日	鈴木自動車工業㈱から原動機付自転車（スズキバーディー５０）

		２台が寄贈された
	7月　１日	消防吏員１名増員、消防長以下７９名
	8月２５日	三上分団、小型動力ポンプ付積載車更新
	9月２９日	豊川ライオンズクラブから広報災害対策車（トヨタハイエース）寄贈された
	１０月　１日	消防本部に管理課を設置
昭和５４年	4月　１日	消防吏員１０名増員、消防長以下８９名
	１０月１６日	日本消防協会から広報車（ニッサンキャラバン）が寄贈された
	１１月２７日	千両分団、小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）更新
	１２月１２日	牛久保分団、消防ポンプ自動車（ＢＳ－Ｉ型、Ａ－２）更新
昭和５５年	1月２７日	南部出張所（仮）配備用水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型）購入
	3月２１日	行明町大井後２１に下郷分団詰所新築（鉄骨カラートタン折板葺２階建延面積４９．１３㎡）
	4月　１日	南部連絡所を出張所に昇格、牛久保町城下１２－１に新築（鉄筋コンクリート造２階建延面積１９８．４６㎡）移転、業務開始
		消防吏員２名増員、消防長以下９１名
		婦人・少年防火委員会発足
		婦人防火クラブ結成
	5月２３日	消防本部貨物自動車（ニッサンキャブオール）更新
	9月２９日	平尾分団、小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）更新
	１０月１５日	当古町東本郷８３番地に当古分団詰所新築（鉄骨着色亜鉛鉄板葺平家建５３．４６㎡）
	１１月１２日	小型動力ポンプ付水槽車（積載水量１０，０００リットル、Ｂ－３）を購入、消防署に配備
	１２月　２日	第３４回愛知県消防大会が豊川市文化会館において開催された
	１８日	指揮車（ニッサンセドリック）更新
昭和５６年	2月１６日	消防署救急車（３Ｂ型）更新
		水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００リットル）を購入、西部出張所に配備
	3月２０日	軽四輪車（スズキフロンテ、スズキキャリーバン、スズキアルト２台）４台購入
	4月　１日	消防本部、署の機構改革に伴い本部に総務課、予防課を置く
		消防吏員９名増員、消防長以下１００名
	１０日	愛知県消防長会が豊川市勤労福祉会館で開催された
	5月　１日	幼年消防クラブ結成
	9月３０日	西部出張所増築（軽量鉄骨ブレース造２階建延９７．２０㎡）
	１０月　１日	宝飯郡音羽町消防事務受託業務開始
	３１日	三上町天神前１４の３に三上分団詰所新築（鉄骨着色亜鉛鉄板葺平

		家建５３．４６㎡）
	１１月　９日	小型動力ポンプ付水槽車（積載水量５，０００ﾘｯﾄﾙ、Ｂ－３）を購入、西部出張所に配備
	２７日	諏訪分団、消防ポンプ自動車（ＢＤ－１型、Ａ－２）更新
	１２月　７日	消防署、水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－Ａ型、積載水量２，０００ﾘｯﾄﾙ）更新
		東部出張所、水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）更新
昭和５７年	２月２３日	日本損害保険協会から救急車（２Ｂ型）が寄贈され、東部出張所に配備
	３月１５日	豊川町礼通１９番地に東部出張所を新築移転（鉄筋コンクリート造２階建延５５３．８５㎡）業務開始
	２３日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－Ａ型、積載水量１，６００ﾘｯﾄﾙ）が寄贈され、東部出張所に配備
	４月　１日	宝飯郡一宮町消防事務受託業務開始
		東・西部出張所を東・西分署に昇格
		消防吏員１３名増員、消防長以下１１３名
	８月２６日	日本消防協会から指令広報車（三菱ギャランΣバン）が寄贈された
	９月　６日	当古分団、小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）更新
	１０月　１日	宝飯郡小坂井町、御津町消防事務受託業務開始
	１１月　９日	愛知県共済生活協同組合から消防広報車（トヨタカリーナ）が寄贈された
	１２月１１日	小型動力ポンプ付水槽車（積載水量１０，０００ﾘｯﾄﾙ、Ｂ－３）購入、東分署に配備
昭和５８年	１月１２日	救助工作車購入、消防署に配備
	４月　１日	消防吏員１２名増員、消防長以下１２５名
		大橋、上宿が自警団連絡協議会に加入（２０自警団）
	７月２６日	第２８回愛知県消防操法大会が開催された
	１０月２１日	三蔵子・下郷分団、小型動力ポンプ付積載車更新
	１２月１３日	Ⅱ型化学消防ポンプ自動車（Ａ－２、積載水量１，３００ﾘｯﾄﾙ、薬液５００ﾘｯﾄﾙ）購入、消防署に配備
		御津出張所（仮）配置用水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）購入
	２０日	豊川町武通４２番地に豊川分団詰所（鉄骨平家建７３．１７㎡）を新築
昭和５９年	４月　１日	御津出張所を宝飯郡御津町大字泙野字村崎８９に新築（鉄筋コンクリート造２階建延２５０．３４㎡）業務開始（消防吏員１０名、水

		槽付消防ポンプ自動車１台） 消防吏員４名増員、消防長以下１２９名
	１２月１９日	小坂井出張所（仮）配置用水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）購入
昭和６０年	３月２６日	新鋭はしご付消防ポンプ自動車（３０ｍ級、Ａ－２）購入、消防署に配備
	４月　１日	御油町行力１９番地に西分署を新築移転（鉄筋コンクリート造２階建延５５０．４５㎡）業務開始 宝飯郡小坂井町大字小坂井字大堀２－１に小坂井出張所を新築（鉄筋コンクリート造２階建延２５１．７３㎡）業務開始（消防吏員１０名、水槽付消防ポンプ自動車１台） 消防吏員１２名増員、消防長以下１４１名
	５月２５日	消防署発足３０周年記念式を市役所第１会議室で開催する
	６月１２日	豊川市危険物安全協会創立３０周年記念として、同協会より防火広報車（トヨタタウンエース）が寄贈された
	８月２７日	財団法人日本消防協会から救急車（２Ｂ型）か寄贈され、西分署に配備
	３０日	消防署３０周年を記念し、森田ポンプ㈱名古屋営業所から消防ポンプ自動車（Ａ－２）が寄贈され、消防署に配備
	１１月　８日	第４回愛知県防火推進大会が豊川市文化会館で開催された
昭和６１年	３月１０日	国府町上坊入４５－１に国府分団詰所（鉄骨平家建７３．１７㎡）を新築
	２５日	指揮車（トヨタクラウン）更新、消防本部に配備
	４月　１日	宝飯郡一宮町大字東上字松本９０－１に一宮出張所を新築（鉄筋コンクリート造２階建延２５１．７３㎡）業務開始（消防吏員１０名、水槽付消防ポンプ自動車１台） 消防吏員３名増員、消防長以下１４４名
	１０月２５日	第３５回東三河地区消防大会が豊川市文化会館で開催された
	１１月　５日	宝飯郡音羽町大字長沢、音羽蒲郡インターチェンジ内において、愛知県下高速道路消防連絡協議会、豊川市消防本部の主催で、関係機関の協力のもと、高速道路における総合消防訓練を実施した
	２１日	東名高速道路音羽蒲郡インターチェンジ及び県道長沢蒲郡線音羽蒲郡有料道路開通
	２７日	Ⅱ型化学消防ポンプ自動車（Ａ－２、積載水量１，３００ﾘｯﾄﾙ、薬液５００ﾘｯﾄﾙ）を購入、西分署に配備
	１２月１７日	平尾町中貝津１に平尾分団詰所（鉄骨造平家建６０．０１㎡）を新築
昭和６２年	４月　１日	中条分団を設置し、１団１１分団総員２２３人となる

		（１９自警団となる）
		消防吏員２名増員、消防長以下１４６名
	８月２８日	中条町宮坪２１－１に中条分団詰所（鉄骨２階建５３．０５㎡）を新築。同時に小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）配備
	９月　１日	愛知県総合防災訓練が、愛知県と豊川市の主催により、陸上自衛隊豊川駐屯地訓練場を主会場として市内各地において開催された
	２４日	連絡車（トヨタタウンエース）更新
昭和６３年	３月１５日	愛知県共済生活協同組合より救急車（２Ｂ型）が寄贈され消防署に配備
	４月　１日	消防吏員５名増員（内２名清算事業団研修生）消防長以下１４９名 主任制度採用
	８月２３日	財団法人日本消防協会から指令広報車（三菱ランサーバン）が寄贈された
	１０月１３日	救急救助用資機材を購入、救助工作車に配備
	２５日	豊川分団、消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）更新
	１１月１０日	千両町糸宅８０－４に千両分団詰所（鉄骨造平家建６０．００㎡）を新築
	２５日	災害対策車（ライトエース）広報車（ライトエース）更新
平成 元 年	１月３１日	査察車（スズキエブリー）更新、東分署及び西分署に配備 査察指導車（スズキエブリー）更新、予防課に配備
	２月２８日	査察広報車（トヨタスプリンター）更新、予防課に配備
	３月１６日	愛知県共済生活協同組合より救急車（２Ｂ型）が寄贈され東分署に配備
	４月　１日	谷川、上野、向河原、二葉が自警団連絡協議会に加入（２３自警団） 消防吏員２名増員、消防長以下１４９名
	１０月１７日	国府分団、消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）更新
	３０日	消防広報車（トヨタコロナ）更新、総務課に配備
	１１月２５日	屈折はしご付消防ポンプ自動車（２０ｍ級、Ａ－２）更新、東分署に配備
平成 ２ 年	２月２８日	三蔵子町宮前３２に三蔵子分団詰所（鉄骨造２階建５３．４６㎡）を新築 救急車（２Ｂ型）更新、西分署に配備
	５月１４日	査察車（スズキエブリー）を４台購入、南部出張所始め４出張所に配備
	２１日	水防用トラック（いすゞエルフ）更新、総務課に配備
	８月　３日	三上分団に小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）更新
	１２月２０日	諏訪３丁目２４２－１に諏訪分団詰所（鉄骨平家建７６．９５㎡）を新築

		東分署車庫部分を増築（６３．１４㎡）
平成３年	３月　４日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）更新、南部出張所に配備
	２２日	通信指令機器を、消防緊急情報システムⅡ型に更新
	２５日	消防超短波無線電話装置（救急波基地局）を設置
	２７日	愛知県共済生活協同組合から消防広報車（トヨタカリーナ）が寄贈された
	３０日	消防情報緊急システムⅡ型の導入に伴い、手狭となった通信指令室の改造をするとともに北庁舎（鉄筋コンクリート造3階建５５．４８㎡）を増築、訓練塔も新築移転した
	４月　１日	中部が自警団連絡協議会に加入（２４自警団）
		消防吏員３名採用、消防長以下１４８名
	５月１４日	査察車（スズキエブリー）を購入、消防署に配備
	７月３０日	千両分団に小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）更新
	１１月２９日	牛久保分団に消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）更新
	１２月１６日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）に更新、西分署に配備
		消防超短波無線電話装置（全国波…基地局）を設置
平成４年	３月１７日	救急車（２Ｂ型）に更新、消防署に配備
	２４日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－Ａ型、積載水量２，０００ﾘｯﾄﾙ）更新、消防署に配備
		水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）更新、一宮出張所に配備
	２５日	牛久保町大手５６－１に牛久保分団詰所（鉄骨造平家建７６．９５㎡）を新築
	４月　１日	消防吏員４名採用、消防長以下１５１名
	５月２５日	防火広報車（ニッサンホーミー）更新、予防課に配備
	８月２６日	平尾分団に小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）更新
	１２月１１日	Ⅱ型化学消防ポンプ自動車（積載水量１，３００ﾘｯﾄﾙ、薬液５００ﾘｯﾄﾙ）更新、消防署に配備
平成５年	３月２４日	小型動力ポンプ付水槽車（積水量１０，０００ﾘｯﾄﾙ、Ｂ－３）更新、西分署に配備
	２９日	消防署の救急車を高規格救急車に更新
	４月　１日	消防吏員８名採用、消防長以下１５８名
	６月　７日	査察指導車（ホンダストリート）更新、予防課に配備
	９月１６日	柑子町五反田１３１に下郷分団詰所（鉄骨平家建５２．２４㎡）を新築
	１０月　１日	救急用心電図伝送装置を豊川市民病院に設置し、運用開始

	２８日	諏訪分団に消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）更新
	１１月　８日	小型動力ポンプ付水槽車（積水量１０，０００㍑、Ｂ－３）更新、消防署に配備
平成 ６ 年	１月２４日	消防本部車（ニッサングロリア）購入、総務課に配備
	４月　１日	消防吏員４名採用、消防長以下１５９名
	５月３１日	査察車（スズキキャリーバン）更新、東・西分署に配備
	６月２０日	連絡車（ニッサンホーミー）更新、総務課に配備
	８月２６日	当古分団に小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）更新
平成 ７ 年	２月２８日	救急車（２Ｂ型）更新、東分署に配備
	３月　７日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００㍑）更新、東分署に配備
	４月　１日	消防吏員５名採用、消防長以下１６５名
	６月２８日	財団法人日本消防協会から査察広報車（トヨタコロナ）が寄贈された 広報車（トヨタタウンエース）更新、予防課に配備
	８月　３日	第４０回愛知県消防操法大会が、豊川市陸上競技場で開催された
	１０月　４日	三蔵子分団、下郷分団に小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）更新
	１２月　８日	小型動力ポンプ付水槽車（積載水量１０，０００㍑、Ｂ－３）更新、東分署に配備
平成 ８ 年	１月１９日	救助工作車（Ⅱ型）更新、消防署に配備
	３月１４日	御油町河原畑２６－１に御油分団詰所（鉄骨造平家建、７６．９５㎡）を新築
	１５日	御油分団に消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）購入
	４月　１日	御油分団を設置し、１団１２分団総員２４３人となる 消防吏員９名採用、消防長以下１７０名
	２４日	救急用心電図伝送装置に関する覚書を医療法人宝美会青山病院と締結
	５月１４日	査察車（ダイハツハイゼット）更新、御津・小坂井・一宮・南部出張所に配備
	８月３０日	財団法人日本宝くじ協会から消火通報訓練指導車（マツダボンゴ）が寄贈された
	１２月２７日	愛知県震度情報ネットワークシステムの管理・運営に関する覚書を愛知県と締結
平成 ９ 年	２月１９日	豊橋信用金庫から救急車（２Ｂ型）が寄贈され、西分署に配備
	２７日	桜町分団（仮称）用地２０１㎡を購入
	３月　５日	音羽蒲郡有料道路（清田トンネル）無線基地局の設置に伴う協定書を愛知県道路公社と締結
	２７日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００㍑）更新、

		御津出張所に配備
平成１０年	１月３０日	携帯電話等緊急通報に係る転送等に伴う協定書を豊橋市と締結
	３月　５日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）更新、小坂井出張所に配備
	６日	東分署の救急車を高規格救急車に更新
	１３日	桜町２丁目８番地２１に桜町分団詰所（鉄骨造平家建６０．０㎡）を新築、及び小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）を購入
	４月　１日	消防団員招集サイレン遠隔吹鳴装置を設置し、運用開始 桜町分団を設置し１団１３分団総員２６３人となる 消防吏員５名採用、消防長以下１７０名
	６月２９日	指令広報車（マツダボンゴ）更新、予防課に配備
	１１月１９日	災害対策車（トヨタハイエース）更新、消防署に配備 豊川市消防本部公式ホームページ試行運用開始
平成１１年	４月　１日	消防吏員２名採用、消防長以下１７２名 豊川市消防本部公式ホームページ本格運用開始
	８月　３日	救助活動中に職員１名殉職
	１１月３０日	Ⅱ型化学消防ポンプ自動車（Ａ－２、積載水量１，３００ﾘｯﾄﾙ、薬液５００ﾘｯﾄﾙ）更新、西分署に配備
平成１２年	３月１４日	高規格救急車を更新、消防署に配備 日本損害保険協会から高規格救急車を寄贈され、西分署に配備
	８月　７日	はしご付消防自動車（４０メートル級）更新、消防署に配備
平成１３年	４月　１日	消防吏員３名採用、消防長以下１７１名 消防団の強化対策で方面体制（４方面隊）を導入し、副団長を２名増員し４名とする
	５月１７日	査察車（ダイハツハイゼット）更新、消防署に配備
	８月　３日	消防本部連絡車（トヨタハイエース）更新、総務課に配備
	７日	中条分団、小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）更新
	９月１９日	水難救助用ボート（アルミ製）更新、消防署に配備
平成１４年	１月２４日	愛知県共済生活協同組合から消防広報車（スズキエスクード）が寄贈された
	２月２８日	豊川分団、消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）更新
	４月　１日	消防吏員４名採用、消防長以下１７１名
平成１５年	３月１８日	東分署に消毒室（鉄骨造２階建１９９．２５㎡）を増築
	４月　１日	消防吏員４名採用、消防長以下１７５名
	６月２４日	資材運搬車を更新、消防署に配備
	７月２８日	査察車（スズキエブリー）更新、東分署・西分署に配備
	１２月　８日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）を更新、南部出張所に配備

平成１６年	３月　９日	国府分団の消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）を更新
	４月　１日	消防吏員２名採用、消防長以下１７５名
	５月１３日	査察車（ダイハツハイゼット）を更新、小坂井出張所・一宮出張所に配備
	７月２７日	三上分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）更新
	２８日	消防本部車（トヨタカムリ）を更新、総務課に配備
	１０月　１日	消防指令センター運用開始
平成１７年	１月１９日	高規格救急車を更新、消防署に配備
	３月　８日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－A型、積載水量２，０００㍑）を更新、消防署に配備 水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－A型、積載水量１，５００㍑）を更新、西分署・一宮出張所に配備
	４月　１日	消防吏員５名採用、消防長以下１７４名
	７月１４日	千両分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）を更新
	１１月１５日	牛久保分団の消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）を更新
	１２月２２日	東分署の２０ｍ級屈折はしご付消防自動車を更新
平成１８年	２月　１日	宝飯郡一宮町と合併 職員２名増員　消防長以下１７６名 消防団組織　１団５方面隊１６分団７部 団長以下４１４人（定員）実員４１４名
	４月　１日	消防吏員消防長以下１７４名 団長以下４１４人（定員）実員４１４名
	６月１１日	愛知県との共催で、風水害対応の総合防災訓練を豊川市いこいの広場において開催
	８月　８日	平尾分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）を更新
平成１９年	２月２３日	高規格救急車を更新、消防署・西分署に配備
	３月　５日	指揮隊車（トヨタハイエース）を更新、消防署に配備
	１５日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－A型、積載水量１，５００㍑）を更新、東分署に配備
	２４日	一宮町豊１番地に一宮出張所を新築（鉄骨造２階建一部平家建延５３８．７２㎡）移転、新たに高規格救急車を配備し業務開始
	４月　１日	行政機構改革により、総務部防災対策課が消防本部へ移管される 消防吏員８名採用、消防長以下１８０名（うち防災対策課５名） 再任用吏員４名採用（定数外） 団長以下４１４人（定員）実員４１４名
	７月　２日	諏訪１丁目１番地（豊川市役所内）へ消防本部（総務課・予防課）を移転、業務開始
	１１月２９日	査察車（スズキエブリー）を更新、御津出張所に配備

	１２月１３日	小型動力ポンプ付水槽車（積載水量１０，０００ﾘｯﾄﾙ、Ｂ－３）を更新、西分署に配備
	２０日	災害対策車（ウニモグ）を更新、消防署に配備
平成２０年	１月１５日	宝飯郡音羽町及び御津町と合併
		職員２名増員　消防長以下１８２名（うち防災対策課６名）
		消防団組織　１団７方面隊２２分団７部
		団長以下　５９４人（定員）実員５８６名
	２月２２日	諏訪分団の消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を更新
	２６日	財団法人日本消防協会から指令広報車（パジェロ）が寄贈された
	４月　１日	消防吏員６名採用、消防長以下１８３名（うち防災対策課６名）
		再任用吏員３名採用（定数外）
		女性団員３名採用、機能別団員発足３６名採用
		団長以下６３０人（定員）実員６２２名
	８月１８日	当古分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－３）を更新
	９月２９日	消火・通報訓練指導車を更新、予防課に配備
	１２月　２日	小型動力ポンプ付水槽車（積載水量１０，０００ﾘｯﾄﾙ、Ｂ－３）を更新、消防署に配備
平成２１年	２月２５日	愛知県共済生活協同組合から広報連絡車（アイシス）が寄贈された
	４月　１日	消防吏員８名採用、消防長以下１８３名（うち防災対策課６名）
		再任用吏員６名採用（定数外）
		団長以下６４２人（定員）実員６２６名うち機能別団員４８名
	６月２６日	広報車（トヨタノア）を更新、予防課に配備
	９月１７日	三蔵子、下郷、萩、長沢分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－２）更新
	１０月２３日	高規格救急自動車を更新、東分署に配備
平成２２年	２月　１日	宝飯郡小坂井町と合併
		職員１名増員　消防長以下１８４名（うち防災対策課７名）
		消防団組織　１団８方面隊２６分団７部
		団長以下７９９人（定員）実員７５３名うち機能別団員４８名
		災害支援車（ニッサンアトラス旧小坂井町車両）を消防署に配備
	４日	御油分団の消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を更新
	１６日	愛知県共済生活協同組合から広報連絡車（アイシス）が寄贈された
	３月２５日	火災原因調査車（トヨタハイエース）を更新、予防課に配備
	４月　１日	消防吏員４名採用、消防長以下１８４名（うち防災対策課７名）
		再任用吏員１名採用（定数外）
		団長以下　７８１人（定員）実員７６３名うち機能別団員５８名
		女性団員１名採用４名
	８月　１日	消防士像「若き志」が前澤　英氏より寄贈され、豊川市長出席のもと、除幕式を開催

	１１月２４日	一宮第１分団第１部、御津第１分団、御津第３分団の消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を更新
平成２３年	２月　９日	救助工作車（Ⅱ型）を更新、消防署に配備
	１４日	赤坂分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－２）更新
	２１日	小型動力ポンプ付水槽車（積載水量９，０００ﾘｯﾄﾙ、Ｂ－３）を更新、東分署に配備
	４月　１日	消防吏員４名採用、消防長以下１８４名（うち防災対策課６名） 再任用吏員１名採用（定数外） 団長以下７９４人（定員）実員７５３名うち機能別団員７７名 女性団員１名採用５名
	１０月　７日	桜町分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－２）を更新
	１１月　４日	ひまわり農業協同組合から高規格救急自動車が寄贈され、消防署に配備
平成２４年	２月２７日	愛知県共済生活協同組合から広報連絡車（サクシード）が寄贈された
	３月２７日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）を更新、御津出張所に配備
	４月　１日	消防吏員３名採用、消防長以下１８５名（うち防災対策課６名） 再任用吏員２名採用（定数外） 団長以下７９４人（定員）実員７４２名うち機能別団員７６名
	１０月１７日	愛知県共済生活協同組合から広報連絡車（サクシード）が寄贈された
平成２５年	１月２３日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ）を更新、小坂井出張所に配備
	２月２６日	小坂井第４分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－２）を更新
	４月　１日	御津出張所、小坂井出張所を統廃合し御津町下佐脇野先５２番４に、南分署を新築（鉄骨造２階建延１，１５７．９５㎡）、業務開始 消防吏員３名採用、消防長以下１８６名（うち防災対策課６名） 再任用吏員１名採用（定数外） 団長以下７５４人（定員）実員７１３名うち支援団員７１名 機能別団員を支援団員に名称変更
	９月２４日	小坂井第１分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－２）を更新
	１０月　１日	小坂井町大堀２の１（旧小坂井出張所）に小坂井第１分団詰所を移転
	１０月２２日	高規格救急自動車を更新、西分署、南分署、一宮出張所に配備
	１２月１２日	査察広報車を更新、東分署に配備
平成２６年	３月３１日	南部出張所を廃止
	４月　１日	消防吏員７名採用、消防長以下１８６名（うち防災対策課６名） 再任用吏員４名採用（定数外） 団長以下７５４人（定員）実員７１４名うち支援団員７８名 女性団員１名採用５名
	１２月　５日	Ｉ型化学消防ポンプ自動車（Ａ－２、積載水量１，５００ﾘｯﾄﾙ、薬液

		３００㍑）を更新、西分署に配備
	１１月　７日	小坂井第３分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－２）を更新
平成２７年	１月２８日	一宮第３分団第１部、御津第２分団の消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）を更新
	４月　１日	消防吏員５名採用、消防長以下１８７名（うち防災対策課６名） 再任用吏員３名採用（定数外） 団長以下７５４人（定員）実員７０４名うち支援団員７９名
	７月２３日	消防本部連絡車（トヨタレジアスエース）更新、総務課に配備
	８月　８日	第６０回愛知県消防操法大会が、豊川市音羽運動公園で開催された
平成２８年	２月１８日	豊川分団の消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）を更新
	３月　３日	中条分団、一宮第１分団第２部の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－２）を更新
	４月　１日	行政機構改革により、防災対策課が企画部へ移管される 消防吏員７名採用（うち女性吏員１名）、消防長以下１８５名 再任用吏員４名採用（定数外） 団長以下７５４人（定員）実員７００名うち支援団員８２名
	５月１８日	査察指導車（スズキエブリー）更新、予防課に配備
	１２月　８日	高規格救急自動車を更新、東分署に配備
平成２９年	１月　１日	新規に高規格救急自動車を増台、本署へ配備し、６台体制運用開始
	２月２３日	一宮第２分団第２部の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－２）を更新
	４月　１日	消防吏員７名採用（うち女性吏員１名）、消防長以下１８３名 再任用吏員８名採用（定数外） 団長以下７２６人（定員）実員７０３名うち支援団員８７名
	１１月２９日	はしご付消防自動車（４０メートル級）更新、消防署に配備
	１１月３０日	防火広報車（トヨタレジアスエース）更新、予防課に配備
平成３０年	２月２０日	国府分団の消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）を更新
	４月　１日	消防吏員８名採用、消防長以下１７９名 再任用吏員９名採用（定数外） 団長以下７２６人（定員）実員６７４名うち支援団員８０名
平成３０年	１２月　７日	高規格救急自動車を更新、消防署に配備
	１２月１３日	指揮車を更新、消防署に配備
平成３１年	２月　４日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００㍑）を更新、消防署、西分署に配備
	２月２６日	三上分団の小型動力ポンプ付積載車を更新
	３月２３日	御津第３分団御馬詰所と下佐脇詰所を統廃合し、新たな詰所（鉄骨２階建８４㎡）を新築
	４月　１日	行政機構改革により、係制を廃止し、グループ制を導入 消防吏員８名採用（うち女性吏員１名）、消防長以下１８１名

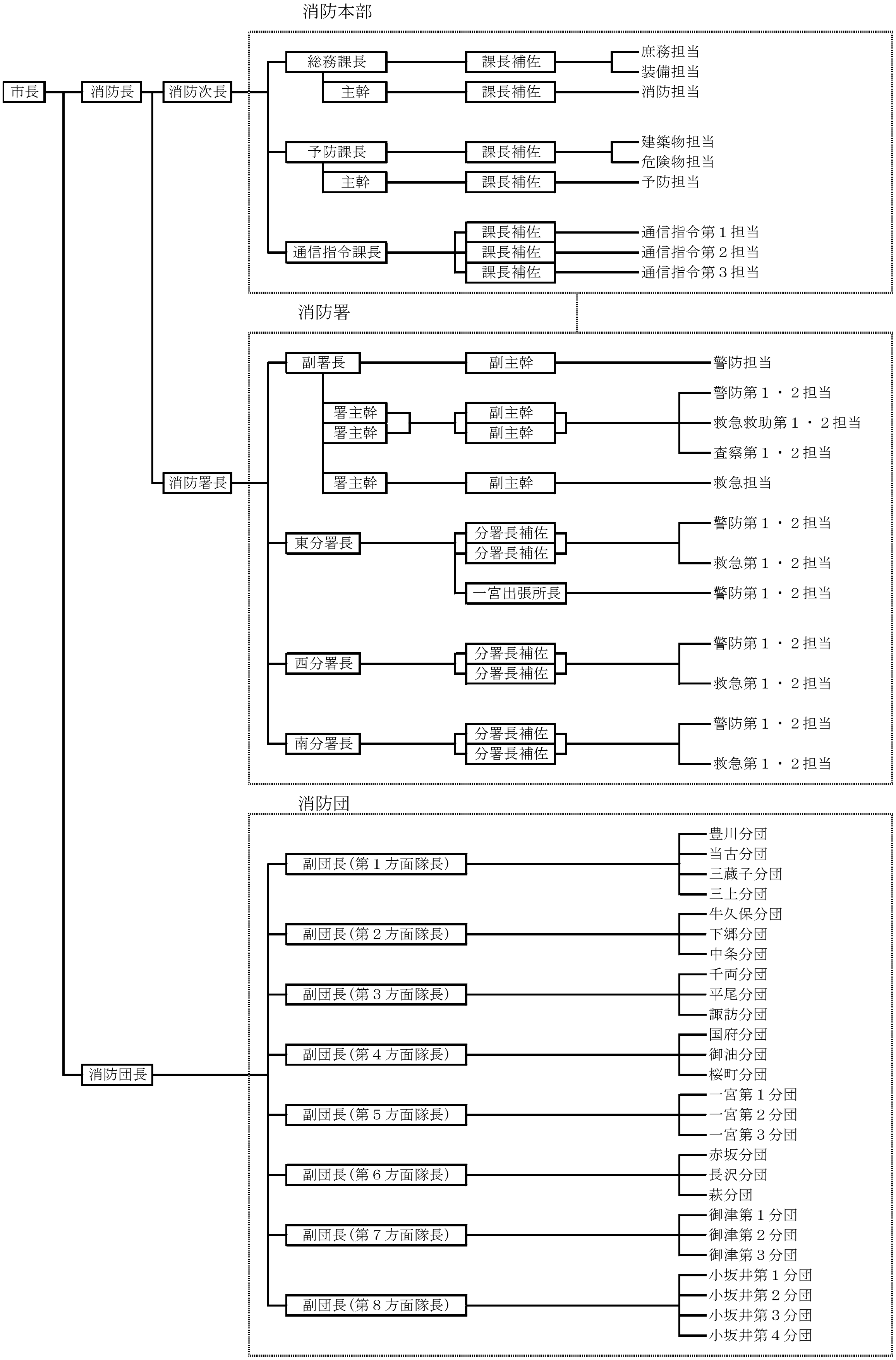
		再任用吏員９名採用（定数外）
		一宮第１分団第１部と第２分団第２部を統廃合し、新第１分団詰所（鉄骨２階建８４㎡）を新築、運用開始
		消防団組織　１団８方面隊２６分団５部
		団長以下７２６人（定員）実員６２２名うち支援団員７９名
令和 元 年	１２月　３日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００リットル）を更新、消防署、一宮出張所に配備
令和 ２ 年	２月　１日	千両分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－２）を更新
	２月２２日	牛久保分団の消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）を更新
	４月　１日	消防吏員８名採用（うち女性吏員１名)、消防長以下１８４名
		再任用吏員９名採用（定数外）
		一宮第１分団第２部と第２分団第３部を統廃合し、新第２分団詰所（鉄骨２階建９８㎡）を新築、運用開始
		消防団組織　１団８方面隊２６分団３部
		団長以下７２６人（定員）実員６２８名うち支援団員７０名
	１２月１０日	高規格救急自動車を更新、西分署、南分署、一宮出張所に配備
令和 ３ 年	２月２０日	平尾分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ―２）を更新
	４月　１日	消防吏員７名採用（うち女性吏員１名)、消防長以下１７８名
		再任用吏員１４名採用（定数外）
		一宮第２分団第１部と一宮第３分団第１部及び第２部を統廃合し、新第３分団詰所（鉄骨２階建９７㎡）を新築、運用開始
		消防団組織　１団８方面隊２６分団
		団長以下７２６人（定員）実員６１８名うち支援団員７０名
	１２月１９日	諏訪分団の消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）を更新
令和 ４ 年	１月２１日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型、積載水量１，５００リットル）を更新、東分署に配備
	１月２６日	公益財団法人日本消防協会から消防連絡車（ニッサンエクストレイル）が寄贈され、消防署に配備
	１月３０日	小坂井第２分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－２）を更新
	３月　８日	資材搬送車を更新、南分署に配備
	４月　１日	消防吏員１０名採用（うち女性吏員１名)、消防長以下１８４名
		再任用吏員１１名採用（定数外）
		団長以下６３１人（定員）実員６０６名うち支援団員７４名
	７月２９日	査察車（ダイハツハイジェット）を更新、一宮出張所に配備
令和 ５ 年	３月１８日	当古分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－２）を更新
	４月　１日	消防吏員７名採用（うち女性吏員１名)、消防長以下１８５名
		再任用吏員１０名採用（定数外）
		消防団組織　１団８方面隊２６分団

		団長以下６３１人（定員）実員５８９名うち支援団員７５名
	７月１３日	通信連絡車（ダイハツハイジェット）を更新、通信指令課に配備
		査察車（ダイハツハイジェット）を更新、予防課、消防署に配備
	１２月２１日	屈折はしご付消防自動車（２５メートル級）を更新、東分署に配備
令和 ６ 年	１月２７日	御油分団の消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を更新
	１月２９日	高規格救急自動車を更新、東分署に配備
	３月　５日	災害支援車を更新、消防署に配備
	３月１６日	三蔵子分団、下郷分団、萩分団、長沢分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－２）を更新
	４月　１日	消防吏員６名採用、消防長以下１８９名
		再任用吏員８名採用（定数外）
		消防団組織　１団８方面隊２６分団
		団長以下６３１人（定員）実員５８４名うち支援団員６７名
	１１月１６日	御津第１分団、御津第３分団の消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を更新
令和 ７ 年	２月１５日	赤坂分団の小型動力ポンプ付積載車（Ｂ－２）を更新
	２月２５日	新規に高規格救急自動車を増台、消防署に配備
	３月　７日	愛知県共済生活協同組合から消防広報車（トヨタプロボックス）が寄贈され、南分署に配備
	４月　１日	消防吏員１２名採用、消防長以下１９２名
		再任用吏員１１名採用（定数外）
		消防団組織　１団８方面隊２６分団
		団長以下６３１人（定員）実員５９０名うち支援団員７１名
		消防署日勤救急隊運用開始（救急車７台体制）

消　防　情　勢

消防本部・消防署・消防団の機構

令和７年４月１日現在



消防本部（署）事務分掌

総務課

庶務担当

1　公印の管守に関すること。
2　文書の収受、発送及び保存に関すること。
3　消防関係諸規程の制定及び改廃に関すること。
4　機密及び渉外事務に関すること。
5　予算及び経理に関すること。
6　物品の購入、出納及び修理に関すること。
7　消防統計及び広報に関すること。
8　職員の任免、分限、懲戒及び表彰に関すること。
9　職員の福利厚生及び衛生管理に関すること。
１０　職員の教養及び研修に関すること。
１１　職員の公務災害補償に関すること。
１２　消防本部消防職員委員会の事務に関すること。
１３　消防本部の庶務に関すること。
１４　東三河消防通信指令事務協議会に関すること。

消防担当

1　水災害その他の災害防ぎょ及び警戒に関すること。
2　消防計画に関すること。
3　消防相互応援協定に関すること。
4　消防訓練及び消防行事に関すること。
5　消防団に関すること。
6　消防団員の公務災害補償に関すること。
7　水防に関すること。
8　自警団に関すること。

装備担当

1　消防施設・建築物・消防機械器具の管理保全に関すること。
2　消防機械器具の取扱技術の指導に関すること。
3　国・県等の車両施設関係の補助に関すること。
4　消防力の整備・企画・調整に関すること。
5　車両の仕様・購入に関すること。
6　消防施設費の予算及び決算に関すること。
7　救急救助に関すること。
8　消火栓屋外ホースの格納箱の補助に関すること。

予防課

予防担当

１　火災予防に関すること。
２　防火対象物の査察に関すること。
３　防火管理者講習に関すること。
４　豊川市火災予防条例の事務処理に関すること。
５　火災の原因及び損害の調査に関すること。
６　り災証明に関すること。
７　災害の記録及び統計に関すること。
８　少年消防クラブ及び女性防火クラブに関すること。
９　防火推進協力団体に関すること。
１０　防火・防災指導に関すること。

建築物担当

１　建築確認の同意に関すること。
２　防火対象物における消防設備に関すること。
３　消防用設備の設置、指導及び検査に関すること。
４　自衛消防隊組織の育成指導に関すること。

危険物担当

１　危険物の規制に関すること。
２　危険物製造所等の許認可に関すること。
３　危険物製造所等の査察指導に関すること。
４　危険物取扱者に関すること。
５　液化石油ガスの保安に関すること。
６　危険物安全推進協力団体に関すること。

通信指令課

通信指令担当

１　消防通信の運用に関すること。
２　火災･救急･その他災害の通報の受報及び出動指令に関すること。
３　気象観測及び気象情報に関すること。
４　消防通信機器並びに気象観測機器の保守管理に関すること。
５　救急病院関係の情報収集に関すること。
６　通信技術訓練に関すること。

消防署

警防担当

1　火災その他の災害の警戒及び防ぎょに関すること。
2　消防訓練及び指導に関すること。
3　消防機械器具の整備保全に関すること。
4　消防機械器具の取扱技術の指導に関すること。
5　消防水利の調査保全に関すること。

救急救助担当

1　救急救助活動に関すること。
2　救急救助訓練及び技術指導に関すること。
3　救急救助装備資材に関すること。
4　救急及び救助統計に関すること。
5　医療機関その他救急関係機関との連絡に関すること。

査察担当

1　防火査察に関すること。
2　防火査察技術の研究及び指導に関すること。
3　火災原因及び損害の調査に関すること。

歴代消防長・消防署長

令和７年４月１日現在

消防長

歴　代	氏　名	在　籍　期　間	備　考
初代	牧山英之	昭和２３年　８月１６日～昭和２９年１１月３０日	総務課長兼務、助役兼務
２代	伊藤可一	昭和２９年１２月　１日～昭和３６年１１月３０日	消防署長兼務
３代	佐藤一男	昭和３６年１２月　１日～昭和４５年　６月　６日	助役兼務
４代	加藤秋一	昭和４５年　６月　７日～昭和５３年　９月３０日	
５代	早川政弘	昭和５３年１０月　１日～昭和５５年　３月３１日	
６代	河田嘉男	昭和５５年　４月　１日～昭和６１年　３月３１日	
７代	山口正男	昭和６１年　４月　１日～昭和６３年　３月３１日	
８代	三木善人	昭和６３年　４月　１日～平成 元 年　３月３１日	
９代	鈴木武夫	平成 元 年　４月　１日～平成　３年　３月３１日	
１０代	星川昌三	平成　３年　４月　１日～平成　６年　３月３１日	
１１代	袴田　忍	平成　６年　４月　１日～平成　９年　３月３１日	
１２代	長田正臣	平成　９年　４月　１日～平成１１年　３月３１日	
１３代	佐野好修	平成１１年　４月　１日～平成１２年　３月３１日	助役兼務（Ｈ１２．１から）
１４代	森岡俊介	平成１２年　４月　１日～平成１４年　９月３０日	
１５代	松田正一	平成１４年１０月　１日～平成１７年　３月３１日	
１６代	鈴木正樹	平成１７年　４月　１日～平成２０年　３月３１日	
１７代	森　正宏	平成２０年　４月　１日～平成２３年　３月３１日	
１８代	伊藤洋文	平成２３年　４月　１日～平成２５年　３月３１日	
１９代	長谷川完一郎	平成２５年　４月　１日～平成２７年　３月３１日	
２０代	若林大幹	平成２７年　４月　１日～平成２８年　３月３１日	
２１代	山口善久	平成２８年　４月　１日～平成２９年　３月３１日	
２２代	渡邊和利	平成２９年　４月　１日～平成３０年　３月３１日	
２３代	白井直樹	平成３０年　４月　１日～令和　２年　３月３１日	
２４代	小野功二	令和　２年　４月　１日～令和　４年　３月３１日	
２５代	岩瀬　誠	令和　４年　４月　１日～令和　７年　３月３１日	
２６代	佐竹秀之	令和　７年　４月　１日～	

消防署長

歴　代	氏　名	在　籍　期　間	備　考
初代	伊藤可一	昭和３０年　２月　１日～昭和３６年１１月３０日	消防長兼務
２代	神田諒二	昭和３６年１２月　１日～昭和４２年　３月３１日	
３代	加藤秋一	昭和４２年　４月　１日～昭和４６年　３月３１日	
４代	早川政弘	昭和４６年　４月　１日～昭和４７年　３月３１日	
５代	山口悦雄	昭和４７年　４月　１日～昭和５３年　９月３１日	
６代	松井　忠	昭和５３年１０月　１日～昭和５８年　３月３１日	
７代	三木善人	昭和５８年　４月　１日～昭和６１年　３月３１日	
８代	山口誠一	昭和６１年　４月　１日～平成 元 年　３月３１日	
９代	田中雅是	平成 元 年　４月　１日～平成　９年　３月３１日	
１０代	白井康広	平成　９年　４月　１日～平成１１年　３月３１日	
１１代	松田正一	平成１１年　４月　１日～平成１２年　３月３１日	
１２代	岩瀬嘉文	平成１２年　４月　１日～平成１４年　３月３１日	
１３代	中島昭雄	平成１４年　４月　１日～平成１６年　３月３１日	
１４代	田島正幸	平成１６年　４月　１日～平成１７年　３月３１日	
１５代	小野友幸	平成１７年　４月　１日～平成２１年　３月３１日	
１６代	若林大幹	平成２１年　４月　１日～平成２５年　３月３１日	
１７代	山口善久	平成２５年　４月　１日～平成２８年　３月３１日	
１８代	市川哲也	平成２８年　４月　１日～平成３０年　３月３１日	
１９代	小柳津敏晴	平成３０年　４月　１日～平成３１年　３月３１日	
２０代	江向　弘	平成３１年　４月　１日～令和　３年　３月３１日	
２１代	伊藤正人	令和　３年　４月　１日～令和　６年　３月３１日	
２２代	安本勇治	令和　６年　４月　１日～令和　７年　３月３１日	
２３代	足立佳真佐	令和　７年　４月　１日～	

消防本部（署）の現勢

令和７年４月１日現在

（単位：人）

区分			正監	監	司令長	司令	司令補	士長	士	計
消防本部	消防長		1							1
	消防次長			2						2
	総務課	課長・主幹			1					1
		課長補佐				2				2
		庶務担当					1	(1)	1	2(1)
		消防担当					1		1	2
		装備担当					2		1	3
		総務課付						2		2
	予防課	課長・主幹			2					2
		課長補佐				2				2
		予防担当					1	1	1	3
		建築物担当					1	1	1	3
		危険物担当					1	2		3
	通信指令課	課長			1					1
		課長補佐				3				3
		通信指令担当					3	(1)		3(1)
	小計		1	2	4	7	10	6(2)	5	35(2)
消防署	消防署長			1						1
	本署				4	6	16	15(6)	24	65(6)
	東分署				1	2	8	6(1)	10	27(1)
	西分署				1	2	8	6(1)	10	27(1)
	南分署				1	2	8	6(1)	10	27(1)
	一宮出張所					1	2	4	3	10
	小計		0	1	7	13	42	37(9)	57	157(9)
合計			1	3	11	20	52	43(11)	62	192(11)

（ ）は再任用：外数

消防職員勤続年数表

令和７年４月１日現在

（単位：人）

区　　分	正監	監	司令長	司令	司令補	士長	士	計
5年未満						1	40	41
5～10年未満						11	22	33
10～15年未満					3	17		20
15～20年未満				2	15	13		30
20～25年未満					17			17
25～30年未満			2	4	8			14
30年以上	1	3	9	14	9	1(11)		37(11)
合　　計	1	3	11	20	52	43(11)	62	192(11)

（ ）は再任用：外数

消防職員の年齢表

令和７年４月１日現在

（単位：人）

区　　分	正監	監	司令長	司令	司令補	士長	士	計
１８～２０歳							10	10
２１～２５歳							32	32
２６～３０歳						14	20	34
３１～３５歳						24		24
３６～４０歳					16	2		18
４１～４５歳					13	1		14
４６～５０歳				4	17			21
５１歳以上	1	3	11	16	6	2(11)		39(11)
合　　計	1	3	11	20	52	43(11)	62	192(11)
比　率（%）	0.5	1.6	5.7	10.4	27.1	22.4	32.3	100.0

（ ）は再任用：外数

消防職員各種免許取得状況

令和７年４月１日現在

（単位：人）

区　　分	正監	監	司令長	司令	司令補	士長	士	計
中型自動車免許							9	9
大型自動車免許	1	3	11	21	53	53	26	168
救急資格者	1	3	11	21	53	53	30	172
救急救命士		1	5	4	19	20	6	55
玉掛資格		3	9	18	48	49	47	174
移動式クレーン資格者		3	9	17	39	26	9	103
陸上特殊無線技士	1	2	8	19	50	47	50	177
小型船舶操縦士	1	2	4	6	12	5	2	32
潜水士		1	4	9	23	19	6	62
衛生管理者		1	1		2			4
特定化学物質取扱者		1	3	2	9	1		16
安全運転管理者		1	4					5
予防技術資格者	1	1		3	8	3		16

一般会計予算及び消防予算（当初予算）

（単位：千円）

区　分	一般会計歳出予算額	消　防　費	比　　率
令和　７　年度	83,550,000	3,607,701	4.3%
令和　６　年度	72,370,000	2,444,737	3.4%
令和　５　年度	70,880,000	2,261,024	3.2%
令和　４　年度	69,520,000	2,149,339	3.1%
令和　３　年度	66,320,000	2,998,854	4.5%

区　　分		令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
消防費	総　額	3,607,701	2,444,737	2,261,024	2,149,339	2,998,854
	常備消防費	2,010,648	1,796,122	1,741,565	1,750,491	1,843,572
	非常備消防費	165,076	127,663	115,523	112,211	114,996
	消防施設費	1,430,099	519,108	402,076	284,827	313,943
	水 防 費	1,878	1,844	1,860	1,810	3,370
	防 災 費					710,095
	防災センター管理費					12,878

現有消防力の配分率表

令和７年４月１日現在

消防吏員	２０３人 ※	消防吏員１人当たり	管内面積	０．７９k㎡
			管内世帯数	４０７世帯
			管内人口	９１４人
常備消防自動車	７台	ポンプ車１台当たり	管内面積	２３．０２k㎡
			管内世帯数	１１，８１６世帯
			管内人口	２６，４９２人

※ 消防署再任用職員１１名を含む。

消防相互応援協定の状況

令和７年４月１日現在

締結年月日	消防相互応援協定名	協定締結機関・団体名
平成１５年４月 （平成２年３月）	愛知県内広域消防相互応援協定 （愛知県下広域消防相互応援協定）	・県内の消防本部及び消防署をおいている市町 ・消防の一部事務組合 ・消防を含む一部事務組合及び広域連合
平成２２年６月	浜松市・豊川市航空消防応援協定	浜松市、豊川市
平成２４年４月	東名高速道路における消防相互応援協定	浜松市、新城市、豊橋市、豊川市
平成２６年４月	東三河地区消防相互応援協定	豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市 田原市、設楽町、東栄町、豊根村
平成３０年７月	愛知県下高速道路における消防相互応援協定	名古屋市、豊橋市、一宮市、岡崎市 豊川市、春日井市、津島市、 衣浦東部広域連合、豊田市、瀬戸市、 稲沢市、小牧市、新城市、東海市、 大府市、尾張旭市、岩倉市、 西春日井広域事務組合、蟹江町、 海部東部消防組合、尾三消防組合 海部南部消防組合、愛西市、
令和４年４月	愛知県における航空機を用いた市町村等の消防支援協定	・愛知県下の市町村 ・消防事務に関する一部事務組合及び広域連合

消　防　施　設

（装備・水利）

消防本部（署）の位置・庁舎の概要

（令和7年4月1日現在）

区　分	所　在　地		構　造	竣　工　年　月　日
	敷地面積(㎡)	建築面積(㎡)	建築延面積(㎡)	
消防本部	豊川市諏訪１－１（市役所内）			
消防署	豊川市諏訪３－２１９		鉄筋コンクリート造 3階建	昭和53年3月10日
	3,245.18	804.97	2,408.57	増築平成 3年3月30日
東分署	豊川市大堀町１０８		鉄筋コンクリート造 2階建	昭和57年3月15日
	2,017.30	470.37	762.24	増築平成15年3月18日
西分署	豊川市御油町行力１９		鉄筋コンクリート造 2階建	昭和60年3月30日
	1,984.45	493.43	718.15	増築平成14年3月15日
南分署	豊川市御津町下佐脇野先５２－４		鉄骨造　2階建	平成25年3月8日
	2,937.58	879.01	1,157.95	
一宮出張所	豊川市一宮町豊１		鉄骨造　2階建	平成19年3月16日
	1,084.29	358.40	537.44	

消防機械一覧表

（令和７年４月１日現在）

消防本部・指令センター

所属・名称	総排気量・型式	車名・年式	ポンプ型式・級別	備考
本部車	2360cc CBA-ACV30	トヨタ・H16		
連絡車	1990cc CBF-TRH200V	トヨタ・H27		拡声装置付
原因調査車	2690cc CBF-TRH226K	トヨタ・H22		無線とよかわ60
広報車	1980cc DBA-ZRR70G	トヨタ・H21		拡声装置付
防火広報車	1990cc CBF-TRH200V	トヨタ・H29		拡声装置付
査察指導車	650cc HBD-DA17V	スズキ・H28		拡声装置付
査察車	650cc 3BD-S700V	ダイハツ・R5		
防火指導車	1990cc ABF-SYE4T	マツダ・H20		
通信連絡車	650cc 3BD-S700V	ダイハツ・R5		

消防署

所属・名称	総排気量・型式	車名・年式	ポンプ型式・級別	備考
指揮車	2690cc CBF-TRH226S	トヨタ・H30		無線とよかわ51
消防連絡車	1990cc 5BA-NT32	ニッサン・R4		無線とよかわ69
広報連絡車	1790cc DBA-ZGM10G	トヨタ・H22		無線とよかわ61
広報連絡車	1490cc DBA-NCP59G	トヨタ・H24		無線とよかわ68
水槽付消防ポンプ自動車	5120cc 2DG-GD2ABA	日野・R1	モリタA-2	無線とよかわ11
水槽付消防ポンプ自動車	5120cc 2DG-GD2ABA	日野・H31	モリタA-2	無線とよかわ17
小型動力ポンプ付水槽車	8860cc BDG-GN1AMXA	日野・H20	トーハツB-3	無線とよかわ21
はしご付消防自動車	8860cc 2DG-PR1APJF	日野・H29		無線とよかわ31
救助工作車	6400cc BDG-GX7JGWA改	日野・H23		無線とよかわ41
救急自動車（高規格）	2690cc CBF-TRH226S	トヨタ・H30		無線きゅうきゅうとよかわ1
救急自動車（高規格）	2480cc 3BF-CS8E26改	日産・R7		無線きゅうきゅうとよかわ7
救急自動車（高規格）	2690cc CBF-TRH226S	トヨタ・H28		無線きゅうきゅうとよかわ8
災害支援車	1990cc 3BF-TRY230	トヨタ・R6		無線とよかわ71
査察車	650cc 3BD-S700V	ダイハツ・R5		
査察車	650cc GBD-DA64V	スズキ・H19		

東分署

所属・名称	総排気量・型式	車名・年式	ポンプ型式・級別	備考
水槽付消防ポンプ自動車	5120cc 2DG-GD2ABA	日野・R4	モリタA-2	無線とよかわ12
小型動力ポンプ付水槽車	8860cc LDG-GN1AMAA	日野・H23	トーハツB-3	無線とよかわ22
屈折はしご付消防自動車	8,860cc 2KG-FH1AGE改	日野・R5		無線とよかわ32
救急自動車（高規格）	2,690cc 3BF-TRH226S	トヨタ・R6		無線きゅうきゅうとよかわ2
査察広報車	650cc ABA-JB23W	スズキ・H25		無線とよかわ62

西分署

所属・名称	総排気量・型式	車名・年式	ポンプ型式・級別	備考
水槽付消防ポンプ自動車	5120cc 2DG-GD2ABA	日野・H31	モリタA-2	無線とよかわ13
小型動力ポンプ付水槽車	8860cc BDG-GN1AMXA	日野・H19	トーハツB-3	無線とよかわ23
化学消防ポンプ自動車	6400cc SDG-GD7JGAA改	日野・H26	日本機械工業A-2	無線とよかわ93
救急自動車（高規格）	2690cc 3BF-TRH226S	トヨタ・R2		無線きゅうきゅうとよかわ3
広報連絡車	1490cc DBA-NCP59G	トヨタ・H24		無線とよかわ63

南分署

所属・名称	総排気量・型式	車名・年式	ポンプ型式・級別	備考
水槽付消防ポンプ自動車	6400cc SDG-GD7JGAA改	日野・H24	モリタ Aー2	無線とよかわ14
水槽付消防ポンプ自動車	5190cc SKG-FSR90S2	いすゞ・H25	日本機械工業A-2	無線とよかわ15
資材搬送車	2990cc 2PG-NPS88AR	いすゞ・R4		無線とよかわ74
災害対策車	4240cc	ダイムラー・H19		無線とよかわ84
救急自動車（高規格）	2690cc 3BF-TRH226S	トヨタ・R2		無線きゅうきゅうとよかわ4
救急自動車（高規格）※非常用	2690cc CBF-TRH226S	トヨタ・H25		無線きゅうきゅうとよかわ5
広報連絡車	1490cc 5BE-NCP160V	トヨタ・R7		無線とよかわ64

一宮出張所

水槽付消防ポンプ自動車	5120cc 2DG-GD2ABA	日野・R1	モリタA-2	無線とよかわ16
救急自動車（高規格）	2690cc 3BF-TRH226S	トヨタ・R2		無線きゅうきゅうとよかわ6
査察車	650cc 3BD-S700V	ﾀﾞｲﾊﾂ・R4		

機械器具等一覧表

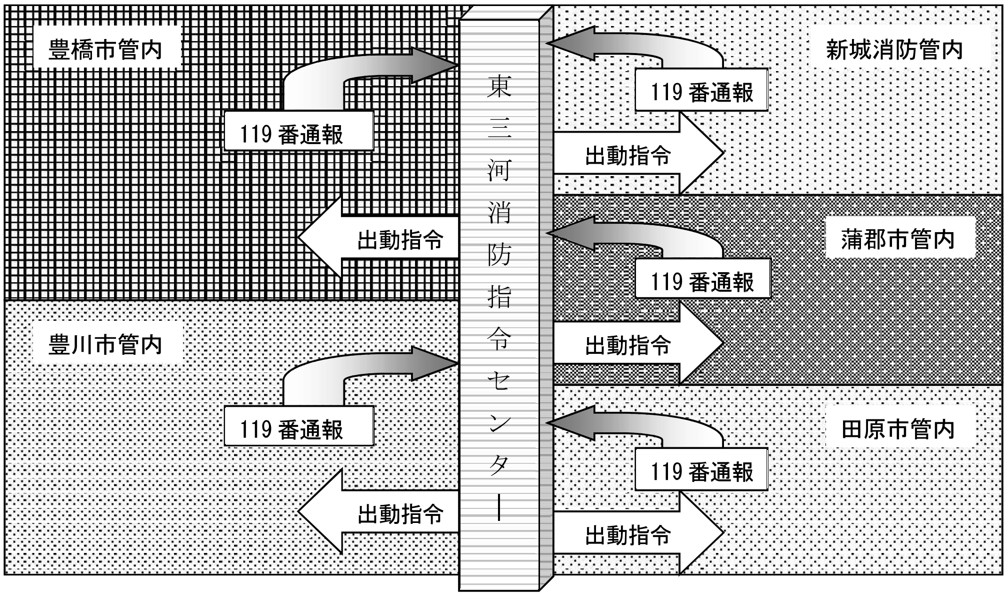
（令和７年４月１日現在）

名　　　称	数量	名　　　称	数量
空気式救助マット	1	救命ボート	17
救命索発射銃	1	船外機	1
サーバイバースリング又は救助用縛帯	13	水中無線機（一式）	1
油圧ジャッキ	1	携帯拡声器	26
可搬ウィンチ	4	緩降機	2
マンホール救助器具（一式）	3	発電機（携帯発電機含む）	27
マット型空気ジャッキ（一式）	1	平担架	4
大型油圧スプレッダー	1	バスケット型担架	6
エンジンカッター	9	布担架	50
ガス溶断器	1	エアーテント	2
チェーンソー	9	泡放射装置（一式）	10
大型油圧切断機	1	携帯電話	23
空気切断機	1	天幕	3
削岩機	1	蘇生訓練用人形	44
コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1	半自動式除細動器	7
ハンマドリル	2	自動体外式除細動器（ＡＥＤ）	8
可燃性ガス測定器（複合型）	9		
有毒ガス測定器（複合型）	9		
酸素濃度測定器（複合型）	9		
放射線測定器	8		
空気呼吸器	57		
空気ボンベ	134		
耐電衣（一式）	7		
陽圧式化学防護服（レベルA）	5		
放射線防護服	2		
除染シャワー（２口）	1		
潜水器具（一式）	8		
潜水用ボンベ	21		
救命胴衣	295		
救命浮環	26		

東三河消防通信指令事務協議会「東三河消防指令センター」

平成 16 年 10 月 1 日から、豊橋市と豊川市は消防通信指令事務を共同で実施しており、平成 20 年 4 月 1 日より新城市が、平成 22 年 4 月 1 日より蒲郡市が、平成 24 年 3 月 1 日より田原市が加わりました。それぞれの消防本部は従来どおり独立していますが、通信指令事務だけを「東三河消防指令センター」として 119 番の受信から各種の出動指令を５市の職員が共同で処理しています。

通信指令施設と機器を共同利用することで経費の削減と省力化が図られ、同時に広域的な情報共有も可能になり、大災害等に対する迅速な連携も期待されています。



通信指令回線一覧　　令和７年４月１日現在

	回線名称	消防指令センター	豊川市管内
緊急回線	１１９番報知 光回線	１２Ｃｈ	
	携帯・ＩＰ１１９番報知回線	第1ﾙｰﾄ 6Ch 第2ﾙｰﾄ 6Ch	
	１１９番転送 光回線	２Ｃｈ	
	１１９番報知専用ＦＡＸ	1	
	１１９番報知専用Ｅメール	1	
	非常線	2	
指令系回線	音声指令回線		8
	データ指令回線（情報回線含）		8
	指令台専用局線	4	
	指令台用内線	6	
	専用線(警察・NHK・ガス・東名)	6	
	順次指令ＦＡＸ回線（ネット）	1	
	順次指令電話回線・順次指令メール	1	１０
	車載端末パケット回線		２７＋予備１
災害情報テレホン案内			1
災害情報インターネット案内			1

通信指令設備一覧（東三河消防指令センター） 令和７年４月１日現在

装置名称	機　　能	設置数
指令台	タッチパネル式	５台
指揮台	タッチパネル式	１台
無線統制台	５市用	１式
電源装置	直流電源装置・無停電電源装置	１式
Ｗｅｂ情報共有装置	Ｗｅｂサーバー・情報共有端末	１式
ネットワーク装置	コアスイッチ、ゲートウェイ用ファイアウォール、 アクセススイッチ、アクセスルータ、無線ＬＡＮ	
セキュリティ装置	ファイアウォール、セキュリティサーバ、 ウイルス検疫装置	センター共用
１１９番ＦＡＸ	１１９番着信 専用転送回線	１台
１１９番メール	専用回線（単独ＰＣ）	１式
長時間録音装置	録音時間内臓ﾊｰﾄﾞ20,000時間　バックアップBlu-ray	１式
指令制御装置	２重化構成＋非常用指令装置	１式
表示装置	５５インチ×４面液晶式	３式
自動出動指定装置	クライアントサーバ型　独立型２台二重化構成	
地図検索装置	ベクトル地図（航空写真・住宅地図・広域地図・道路地図）	
発信地表示装置	地図連動	１式
車両動態位置管理	直近車両選別・ＡＶＭ・ＦＯＭＡ網	１式
指令伝送装置	指令書送信	８式
順次指令装置	ＦＡＸ・電話・Ｅメール	１式
音声合成装置	音声合成指令・市民向案内（テレホンガイド）	１式
画像伝送装置	動画・音声・データ双方向伝送	１式
５ｹ国語対応装置	英語・ポルトガル語・スペイン語・中国語・韓国語	１台
三者間同時通訳	電話通訳センターを介した多言語対応	
起床装置	指令連動型	
管理監視制御装置	基地局監視	１式
無線回線制御装置	指令系・基地局・遠隔制御装置等の接続	１式
Net119通報システム	専用受付端末（Net119）、保守用受付端末（Net119、 ネットワークプリンタ、着信表示灯）	１式
Live119緊急通報システム	１１９番映像通報システム	３式

防災設備の状況

防災設備は東三河消防指令センターから独立して豊川市役所及び豊川市消防署に設置されています。

防災設備一覧 令和７年４月１日現在

設備名称	豊川市役所	豊川市消防署
デジタル同報系防災行政無線	一式	
デジタル移動系防災行政無線	１	６
高度情報通信ネットワーク	１	１
気象観測装置（雨量ロガー含む）		１（雨量ロガー３箇所）
地震観測装置		１

地震観測装置は豊川市役所の各支所にも設置されています。

無線設備の状況

平成２４年度に消防救急デジタル無線を東三河５市で共同整備を行い、平成２５年３月２６日より運用しています。

無線設備一覧 令和７年４月１日現在

基地局（とうさんしれい）	活動波	2	基	移動局	車両無線機	32	台
	〃	（2）	基		携帯無線機	52	台
	統制波①	1	基		車両受令機	33	台
	統制波②	1	基		携帯受令機	33	台
	統制波③	1	基		半固定無線機	8	台
	主運用波	1	基		可搬式無線機	1	台

消防救急デジタル無線は５市で８箇所の基地局を整備し、東三河全体で運用しています。豊川市は東三河全体で１０波の活動波のうち２波は単独使用し、２波を共同使用（予備使用）しています。

また、８箇所ある基地局のうちの５箇所には、主運用波、統制波①・②・③を整備し、東三河全体で運用しています。

移動局は活動波１０波、主運用波７波、統制波①・②・③を整備し運用しています。

現有常備消防力との基準の比較

令和７年４月１日現在

※基準に基づき算定した数値との比較

1 算出根拠

市街地人口	185,441	※住民基本台帳人口より集計
年間平均風速	4m未満／毎秒	

2 施設

	算定数	現有数	充足率（%）
施　　　設	5	5	100.0

3 車両

	算定台数（台）（非常用を除く）	現有台数（台）（非常用を除く）	充足率（%）
指揮車	1	1	100.0
水槽付消防ポンプ自動車	7	7	100.0
はしご自動車	2	2	100.0
化学消防車	1	1	100.0
救助工作車（省令４条）	1	1	100.0
特殊車等	13	13	100.0
救急自動車	6	7	116.7
消防艇	1	0	0.0
合計	32	32	100.0

4 人員

	算定人員（人）	現有人員（人）	充足率（%）
隊員	183	147	80.3
通信員	7	8	114.2
予防要員（警防要員を充てる数）	35(9)	22(9)	62.8
総務　その他の要員	29	35	120.6
合計（警防要員を充てる数を除く）	245	203(再任用含む)	82.8

消防水利一覧表

区　　分	数量	備考
消火栓	1,031	配管150㎜以上
防火水槽　合計	589	―
４０㎥以上　６０㎥未満	509	内耐震性　162
６０㎥以上１００㎥未満	62	内耐震性　24
１００㎥以上	18	内耐震性　13
その他　合計	76	―
プール	43	―
その他（ファームポンド）	33	―

予　防　統　計

予防査察実施状況

令和6年度中

用途区分			件数
1	イ	劇場・映画館等	1
	ロ	公会堂・集会場等	4
2	イ	キャバレー等	
	ロ	遊技場・ダンスホール	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗	
	ニ	カラオケボックス等	
3	イ	料理店等	
	ロ	飲食店	4
4		百貨店・マーケット等	10
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	5
	ロ	寄宿舎・共同住宅	333
6	イ	(1)病院(延焼抑制無)	1
		(2)有床診療所	
		(3)病院(延焼抑制有等)	
		(4)無床診療所等	6
	ロ	(1)高齢者	9
		(2)生活保護者	
		(3)児童	
		(4)障害児	
		(5)障害者	3
	ハ	(1)高齢者	3
		(2)生活保護者	
		(3)児童	2
		(4)障害児	3
		(5)障害者	6
	ニ	幼稚園・養護学校等	4
7		学校・各種学校等	
8		図書館・博物館等	
9	イ	熱気浴場・蒸気浴場等	
	ロ	イ以外の公衆浴場	
10		車両等の停車場・発着場	1
11		神社・寺院・教会等	26
12	イ	工場・作業場等	203
13	イ	自動車車庫・駐車場	4
14		倉庫	9
15		1～14に該当しない事業場	13
16	イ	特定用途を含む複合用途	14
	ロ	イ以外の複合用途	34
17		重要文化財等	
合計			698

火災予防条例等による届出件数

令和6年度中

区分	火災予防条例等による諸届出 防火対象物使用開始	炉・ボイラー設備設置	温風暖房機・ヒートポンプ	給湯湯沸設備・厨房等	放電加工機設置	乾燥設備設置	サウナ設備設置	変電・発電・蓄電池・燃料電池・急速充電設備	ネオン管燈設備	打ち上げ花火等	溶接・溶断作業	催物開催	喫煙承認	裸火使用承認	危険物品持ち込み承認	少量危険物貯蔵・取扱 開始	少量危険物貯蔵・取扱 変更	少量危険物貯蔵・取扱 廃止	指定可燃物貯蔵 開始	指定可燃物貯蔵 廃止	液化石油ガス等貯蔵 開始	液化石油ガス等貯蔵 廃止	防火管理者 選解任届	防火管理者 資格証明	消防計画 制定	消防計画 変更	消防計画 共同防火管理協議届
4月	23							3		1	2					3		2			4		47	1	1	25	
5月	19							3			1	1			1		1				8	4	26		4	9	
6月	21	1	1					1			2					4	1				1		16		2	15	
7月	30		1	1				4			1				2	2	1	3	1		4	8	39	1	1	17	
8月	29					1		3		1	2						4	2		2	6	2	18	1	1	11	
9月	26			1				6		5	2			1		1	4	1			3		24		3	16	
10月	33		2	3		1		3		3	1				1	3	1	5			3		24	1		15	
11月	35							6		2	3			1		1	2				3	2	30	2	3	8	
12月	36		4					12			1						1	4		2	3	3	18		2	11	
1月	24							15			2					3	2	1	2		4		14			9	
2月	32							4		3	1				1	4		3	1		6		19	2	2	12	
3月	15			6				9		7	1				2	1	1	4			1	3	25		1	7	
合計	323	1	8	11		2		69		22	19	1		2	7	22	18	25	4	4	46	22	300	8	20	155	

防火教室等実施状況

1　事業内容

防　火　教　室	防火講話、防火映画・ビデオ、消火器の取扱い
防火防災訓練	町内会等で実施する訓練
消　防　訓　練	事業所等で実施する訓練
救　命　講　習	心肺蘇生法、応急手当法、AEDの取扱い
施　設　め　ぐ　り	消防署の見学

2　業態別件数、参加人員　　　　　　　　　　　　　　令和6年度中

	防災会等	保育園学校等	社会福祉施設	病院等	店　舗集会場	工場	その他事業所	その他団体	計
防火教室	0	7	3	0	0	1	4	5	20
	0	534	110	0	0	30	53	144	871
防火防災訓練	153	2	1	0	1	0	0	8	165
	11,826	34	6	0	100	0	0	311	12,277
消防訓練	4	136	256	54	483	138	133	4	1,208
	63	37,228	8,715	1,928	9,376	15,974	4,592	1,197	79,073
救命講習	16	62	15	1	6	26	50	49	225
	819	1,708	185	20	38	402	794	1,110	5,076
施　設めぐり	0	27	2	0	0	0	0	3	32
	0	1,720	29	0	0	0	0	114	1,863
計	173	234	277	55	490	165	187	69	1,650
	12,708	41,224	9,045	1,948	9,514	16,406	5,439	2,876	99,160

（上段件数、下段人員）

防火対象物用途別状況

令和7年3月31日現在

用途区分			棟数
1	イ	劇場・映画館等	8
	ロ	公会堂・集会場等	169
2	イ	キャバレー等	0
	ロ	遊技場・ダンスホール	8
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗	0
	ニ	カラオケボックス等	4
3	イ	料理店等	5
	ロ	飲食店	303
4		百貨店・マーケット等	401
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	16
	ロ	寄宿舎・共同住宅	1,945
6	イ	（1）病院（延焼抑制無）	7
		（2）有床診療所	0
		（3）病院等（延焼抑制有等）	13
		（4）無床診療所等	87
	ロ	（1）高齢者	70
		（2）生活保護者	0
		（3）児童	0
		（4）障害児	1
		（5）障害者	37
	ハ	（1）高齢者	51
		（2）生活保護者	0
		（3）児童	76
		（4）障害児	29
		（5）障害者	51
	ニ	幼稚園・養護学校等	22
7		学校・各種学校等	201
8		図書館・博物館等	4
9	イ	熱気浴場・蒸気浴場等	0
	ロ	イ以外の公衆浴場	1
10		車両等の停車場・発着場	5
11		神社・寺院・教会等	207
12	イ	工場・作業所等	1,416
	ロ	映画・テレビスタジオ	0
13	イ	自動車車庫・駐車場	120
	ロ	飛行機の格納庫	0
14		倉庫	920
15		1～14に該当しない事業所	962
16	イ	特定用途を含む複合用途	439
	ロ	イ以外の複合用途	202
16の2		地下街	0
17		重要文化財等	7
18		延長50m以上のアーケード	0
合計			7,787

消防用設備等検査実施状況

令和6年度中 （件）

用途区分			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	イ	劇場・映画館等													0
	ロ	公会堂・集会場等		2	1	1		1					1		6
2	イ	キャバレー等													0
	ロ	遊技場・ダンスホール													0
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗													0
	ニ	カラオケボックス等													0
3	イ	料理店等													0
	ロ	飲食店	1												1
4		百貨店・マーケット等			1		2						2		5
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所		1											1
	ロ	寄宿舎・共同住宅		1	1				1		1	1		2	7
6	イ	（1）病院（延焼抑制無）													0
		（2）有床診療所													0
		（3）病院等（延焼抑制有等）					1			1					2
		（4）無床診療所等	1	2	1										4
	ロ	（1）高齢者	1	1		1		1		1					5
		（2）生活保護者													0
		（3）児童													0
		（4）障害児													0
		（5）障害者								2	1				3
	ハ	（1）高齢者			1						1				2
		（2）生活保護者													0
		（3）児童		1						1				2	4
		（4）障害児					1								1
		（5）障害者							1	1			1		3
	ニ	幼稚園・養護学校等											1		1
7		学校・各種学校等		1						3		2			6
8		図書館・博物館等													0
9	イ	熱気浴場・蒸気浴場等													0
	ロ	イ以外の公衆浴場													0
10		車両等の停車場・発着場						1							1
11		神社・寺院・教会等													0
12	イ	工場・作業所等	1	3	3	5		3	2	3	4	2	4	5	35
	ロ	映画・テレビスタジオ													0
13	イ	自動車車庫・駐車場											1		1
	ロ	飛行機の格納庫													0
14		倉庫	1	1	1					1	1		2		7
15		1～14に該当しない事業所			1					1			2	1	5
16	イ	特定用途を含む複合用途	3		4	1		2	3	1	1	2	1		18
	ロ	イ以外の複合用途													0
16の2		地下街													0
17		重要文化財等													0
18		延長50m以上のアーケード													0
合　計			8	13	14	8	4	8	7	15	9	7	15	10	118

消防用設備等設置状況

令和7年3月31日現在 （棟）

用途区分		設備種別	消火設備 屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	特殊消火設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備
1	イ	劇場・映画館等	2	1			
	ロ	公会堂・集会場等	9	1	1		
2	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場・ダンスホール	3	1	1		
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗					
	ニ	カラオケボックス等					
3	イ	料理店等					
	ロ	飲食店			1		
4		百貨店・マーケット等	13	12	9		
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	9		6	1	
	ロ	寄宿舎・共同住宅	16	2	3		
6	イ	（1）病院（延焼抑制無）	1	6	2		
		（2）有床診療所					
		（3）病院等（延焼抑制有等）	3	3	2		
		（4）無床診療所等	2				
	ロ	（1）高齢者	1	69	1		
		（2）生活保護者					
		（3）児童					
		（4）障害児		1			
		（5）障害者		36	1		
	ハ	（1）高齢者	6	2			
		（2）生活保護者					
		（3）児童					
		（4）障害児					
		（5）障害者	1				
	ニ	幼稚園・養護学校等	2				
7		学校・各種学校等	87		1		
8		図書館・博物館等	3		1		
9	イ	熱気浴場・蒸気浴場等					
	ロ	イ以外の公衆浴場					
10		車両等の停車場・発着場					
11		神社・寺院・教会等	10	4	1	1	3
12	イ	工場・作業場等	175	1	47	115	78
	ロ	映画・テレビスタジオ					
13	イ	自動車車庫・駐車場		1	30		
	ロ	飛行場の格納庫					
14		倉庫	43			18	14
15		1～14に該当しない事業場	49	2	10	4	3
16	イ	特定用途を含む複合用途	17	12	12		
	ロ	イ以外の複合用途	5		1	1	
17		重要文化財等				1	1
合計			457	154	130	141	99

令和7年3月31日現在（棟）

警報設備				避難設備		その他の設備				設備種別／用途区分	
自動火災報知設備	漏電火災警報機	非常警報設備	火災通報装置	避難器具	誘導灯	消防用水	連結散水設備	連結送水管	非常コンセント設備		
4		3		1	3					1	イ
74		73		30	104						ロ
										2	イ
6		7		1	7						ロ
											ハ
4		1		1	4						ニ
1				1	4					3	イ
38		92		21	159						ロ
174		124	4	12	315			1		4	
16		8	11	6	16			4	1	5	イ
254	3	73	4	171	50			54	13		ロ
7		3	7	5	7			1		6	イ
12		7	7	5	13	1		2			
37		22	6	7	80						
70		15	70	18	70						ロ
1		1	1	1	1						
36		7	36	1	37						
27		10	11	4	42						ハ
59		19	13	24	55						
2		1	1		14						
18		6	4	4	33						
16		8		12	17						ニ
143		75	6	54	43	2				7	
3		2		1	3					8	
										9	イ
											ロ
2					1					10	
20		38		3	10	4		1		11	
595		55	13	12	190	62		2		12	イ
											ロ
22					5	1		3		13	イ
											ロ
178		1	1	3	82	7				14	
142		81	2	33	146	3	3	5		15	
177	2	62	14	41	213	2		6		16	イ
28		9		16	19			3			ロ
6										17	
2,172	5	803	211	488	1,743	82	3	82	14	合計	

中高層防火対象物階別状況

令和7年3月31日現在

階　　　数	棟　　　数
15　　階	2
14　　階	3
13　　階	2
12　　階	4
11　　階	3
10　　階	4
9　　階	8
8　　階	19
7　　階	21
6　　階	41
5　　階	95
4　　階	260
合　　計	462

用途・月別建築同意件数

令和6年度

用途区分		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	イ	劇場・映画館等													0
	ロ	公会堂・集会場等											1		1
2	イ	キャバレー等													0
	ロ	遊技場・ダンスホール													0
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗													0
	ニ	カラオケボックス等													0
3	イ	料理店等													0
	ロ	飲食店											3		3
4		百貨店・マーケット等		1		1		1	1	2			3	2	11
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所													0
	ロ	寄宿舎・共同住宅	1		2	1		3		1					8
6	イ	(1)病院(延焼抑制無)													0
		(2)有床診療所													0
		(3)病院等(延焼抑制有等)										1			1
		(4)無床診療所等													0
	ロ	(1)高齢者							1	2		3			6
		(2)生活保護者													0
		(3)児童													0
		(4)障害児													0
		(5)障害者		1							1				2
	ハ	(1)高齢者													0
		(2)生活保護者													0
		(3)児童			1	1	1				1		1		5
		(4)障害児													0
		(5)障害者											1	1	2
	ニ	幼稚園・養護学校等													0
7		学校各種学校等				1								1	2
8		図書館・博物館等													0
9	イ	熱気浴場・蒸気浴場等													0
	ロ	イ以外の公衆浴場													0
10		車両等の停車場・発着場									1			2	3
11		神社・寺院・教会等												1	1
12	イ	工場・作業場等	2	2	2		1	1	2	2	1			2	15
	ロ	映画・テレビスタジオ													0
13	イ	自動車車庫・駐車場	1							2			1		4
	ロ	飛行機の格納庫													0
14		倉庫		7		1	2	3	1	1	3	5	3	2	28
15		1～14に該当しない事業場	3	4	3		1	2	6	2	3	9	3	4	40
16	イ	特定用途を含む複合用途		1					1				1		3
	ロ	イ以外の複合用途							1			1			2
16の2		地下街													0
17		重要文化財等													0
18		延長50m以上のアーケード													0
小 計			7	16	8	5	5	10	13	12	10	19	17	15	137
専用住宅			6	3	10	9	13	17	13	14	6	10	10	6	117
長 屋			5	5	4	3	2	3	2	3	3	4	1	2	37
そ の 他			1	4	3	2	2	3	1	2	4	2	0	2	26
小 計			12	12	17	14	17	23	16	19	13	16	11	10	180
合 計			19	28	25	19	22	33	29	31	23	35	28	25	317

危険物規制対象施設数･製造所等事務処理件数

令和7年3月31日現在

区分 / 種別		製造所	貯蔵所								取扱所				計
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	小計	
数量別	計	3	98	43	10	58		71	15	295	90		71	161	459
	5倍以下		53	12	6	22		24	7	124	7		38	45	169
	5倍～10倍	1	17	7	4	20		3	6	57	4		18	22	80
	10倍～50倍	1	26	17		12		12	2	69	38		13	51	121
	50倍～100倍	1	1	4		3		24		32	4		1	5	38
	100倍～150倍		1	3		1		8		13	6			6	19
	150倍～200倍										4			4	4
	200～1000倍										27			27	27
	1000倍以上												1	1	1
類別	第1類		3							3					3
	第2類		1							1					1
	第3類		1							1					1
	第4類	3	87	43	10	58		71	14	283	90		70	160	446
	第5類														
	第6類														
	混在		6						1	7			1	1	8
令和6年度事務処理件数	設置許可		1			1		3		5			1	1	6
	変更許可		1	2	1	1				5	18		46	64	69
	設置完成							3		3					3
	変更完成		1	2	1	1				5	18		41	59	64
	廃止届					3		1		4	1		2	3	7
	仮使用承認										17		49	66	66
	仮貯蔵･仮取扱			1	2		1			4					4

校区別危険物施設一覧表

令和7年3月31日現在

校区別 / 種別		製造所	貯蔵所								取扱所				計
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	小計	
小学校区名	豊川		1							1	2		1	3	4
	桜木		3			1			1	5			1	1	6
	三蔵子		7			3		2	1	13	5		5	10	23
	豊川東部	1	1	6		2		4		13	5		3	8	22
	牛久保		1		1	1				3	3			3	6
	中部		3			4				7	2		1	3	10
	桜町		4		2	4		30		40	5		3	8	48
	八南	1	14	1		2			1	18	5		5	10	29
	千両		3	3	1			3		10	1		2	3	13
	平尾		4		1	7				12	3		2	5	17
	国府				1	1				2	4		1	5	7
	御油		2	1						3	1		1	2	5
	天王			4				3		7			2	2	9
	代田		12	3		2			4	21	3		2	5	26
	金屋		4	3		4			1	12	2		2	4	16
	豊		3			1				4	5			5	9
	一宮西部		6	5		8		1	3	23	13		7	20	43
	一宮東部	1	2	1		1			1	5	1		4	5	11
	一宮南部		2	1					1	4			2	2	6
	赤坂		5		1	1				7	1		5	6	13
	長沢					1			1	2	3		1	4	6
	萩		5			1				6	1		3	4	10
	御津北部		1	2	1	3		15		22	4		3	7	29
	御津南部		8	12	2	5		13		40	9		10	19	59
	小坂井東		2			5			1	8	10		4	14	22
	小坂井西		5	1		1				7	2		1	3	10
合計		3	98	43	10	58		71	15	295	90		71	161	459

火　災　統　計

火災発生状況

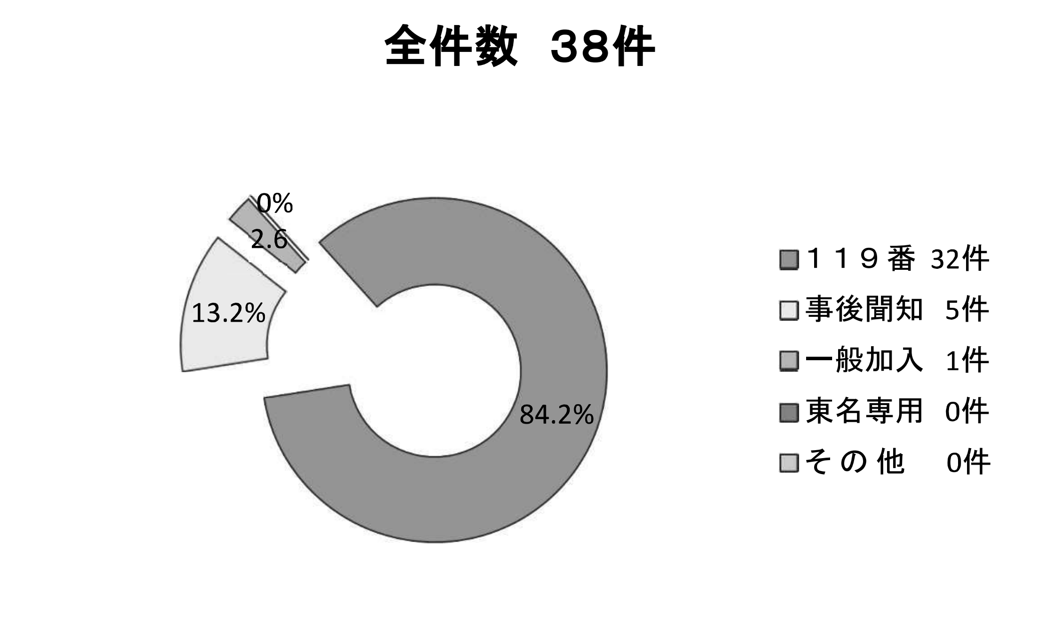
令和6年

区分／月別	火災件数					損害額（千円）					焼損面積		り災世帯			り災人員	死傷者数		焼損棟数
	合計	建物	林野	車両・船舶	その他	合計	建物	林野	車両・船舶	その他	建物（㎡）	林野（a）	全損	半損	小損		死者	負傷者	
1月	2				2													1	
2月	3	2			1	1,999	1,998			1	8				1	2			2
3月	4			2	2	4,298			4,298										
4月	2	1			1	102	102												1
5月	3	2			1	19,369	19,369				290		2			6		3	4
6月	5	3		1	1	45,824	45,598		226		1,133		10		2	19		1	8
7月	3			1	2	444			386	58									
8月	5	4			1	50,437	50,437								2	3			4
9月	1	1				34	34								1	1			1
10月	2	2				14,759	14,759				29		1			1			2
11月	5	1		3	1	2,042	1,154		888		17						1		1
12月	3	1			2	5,076	4,854			222	83		2			2			1
計	38	17		7	14	144,384	138,305		5,798	281	1,560		15		6	34	1	5	24

※ 死者数は、「30日死者」を含まない。

火災の覚知区分状況

火災の覚知別件数



校区別火災件数

豊川市

校区	令和5年	令和6年
豊川	1	2
豊	0	2
東部	4	6
桜木	0	0
金屋	0	0
三蔵子	3	0
千両	0	1
牛久保	0	2
天王	3	0
中部	1	0
代田	4	1
八南	0	2
平尾	4	1
桜町	0	0
国府	2	2
御油	0	2

校区	令和5年	令和6年
一宮東部	4	1
一宮西部	3	5
一宮南部	0	2
赤坂	0	3
長沢	4	3
萩	1	0
御津南部	5	2
御津北部	0	0
小坂井東	2	1
小坂井西	1	0
計	42	38

用途・月別火災件数

区分／月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
建物火災	住宅					1	1		1		1	1		5
	併用住宅													0
	共同住宅									1			1	2
	工場・作業場		1						2					3
	倉庫・納屋				1		1							2
	店舗・飲食店										1			1
	病院													0
	学校													0
	旅館								1					1
	複合用途					1	1							2
	その他		1											1
林野火災														0
車両・船舶火災				2			1	1				3		7
その他の火災		2	1	2	1	1	1	2	1			1	2	14
合計		2	3	4	2	3	5	3	5	1	2	5	3	38

時間別・原因別火災発生状況

原因＼時	計	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明
合計	38	1	0	1	2	1	0	4	0	0	1	6	1	1	3	3	1	3	3	0	2	2	3	0	0	0
放火の疑い	1															1										
たばこ	4	1												1		1		1								
コンロ	1											1														
電気機器	1											1														
放火	2				1																		1			
炉・焼却炉	0																									
火遊び	0																									
ストーブ	2							1											1							
たき火	5										1		1		1			1	1							
溶接・切断機	1											1														
風呂・かまど	0																									
花火	0																									
電気配線	2							1											1							
煙突・煙道	0																									
その他	12			1	1							2			2	1	1	1			1	1	1			
不明	7					1		2				1									1	1	1			

５年間の火災発生状況

区　分　＼　年　別		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
件　　数		34	30	54	42	38
損害額(千円)		114,879	154,386	43,308	93,571	144,384
焼損面積	建物(㎡)	565	910	722	647	1,560
	林野(ａ)	0	0	0	6	0
1件当り損害額（円）		3,378,794	5,146,200	802,000	2,227,881	3,799,579
1件の発生間隔（日）		11	12	7	9	10
死　　者		2	1	3	0	1
建物	件数	11	11	18	25	17
	焼損面積(㎡)	565	910	722	647	1,560
	損害額(千円)	112,248	107,440	29,121	82,435	138,305
	1件当り焼損面積(㎡)	51	83	40	26	92
	1件当り損害額(円)	10,204,364	9,767,273	1,617,833	3,297,400	8,135,588
林野	件数	0	0	0	1	0
	焼損面積(a)	0	0	0	6	0
	損害額(千円)	0	0	0	0	0
車両船舶含	件数	4	9	9	4	7
	損害額(千円)	1,850	46,204	13,915	10,709	5,798
その他	件数	19	10	27	12	14
	損害額(千円)	781	742	272	427	281

月別火災出動車両及び人員

署所別＼月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災 総 件 数		2	3	4	2	3	5	3	5	1	2	5	3	38
本　署	車　両	5	9	8	5	15	15	8	19	3	3	14	10	114
	人　員	15	29	27	17	51	54	29	62	13	9	47	32	385
東分署	車　両	2	6	1	4	3	6	2	5	3	0	4	2	38
	人　員	7	21	3	16	12	21	6	19	9	0	13	7	134
西分署	車　両	1	3	6	0	6	3	1	6	0	2	5	3	36
	人　員	2	9	22	0	21	12	3	25	0	6	18	12	130
南分署	車　両	0	1	0	0	5	3	0	5	0	2	2	1	19
	人　員	0	4	0	0	18	10	0	18	0	7	7	4	68
一　宮	車　両	1	0	1	1	1	1	0	3	1	1	1	1	12
	人　員	4	0	4	4	4	4	0	12	4	4	4	4	48
車 両 合 計		9	19	16	10	30	28	11	38	7	8	26	17	219
人 員 合 計		28	63	56	37	106	101	38	136	26	26	89	59	765

その他災害出動件数内訳

種別	風水害等の災害	特別巡視警戒	火災誤報	火災発生危険	煙・焚火等対応	危険物等の漏れ	自火報等	救急支援	捜索	動物対応	その他	合計
件数	5	3	30	1	32	32	100(12)	1,795	0	3	39	2,040

※自火報等のうち(　)は住宅用火災警報器の件数を表示している。

救急支援の詳細別件数

詳細別	救命支援	小児救命支援	※高速救命支援	※高速救急支援	支援救急	その他救急支援	合計
件数	1,542	120	13	54	57	9	1,795

※高速とは、東名高速道路及び国道等の主要道路を示している。

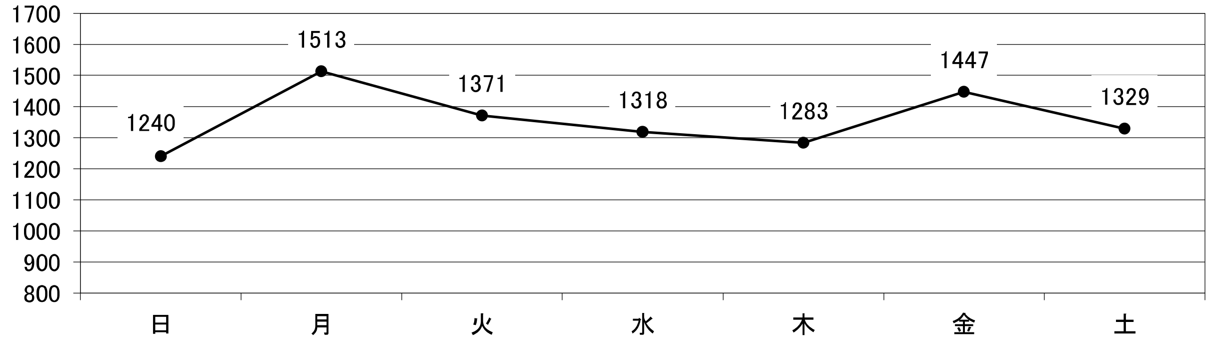
救　急　統　計

月別救急事故出動件数及び搬送人員

上 段 ： 件 数　　下 段 ： 搬送人員

	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損事故	急病	その他	合計
1 月	2	0	0	45	7	6	104	1	9	635	93	902
	1	0	0	42	7	6	95	0	5	575	78	809
2 月	2	0	0	35	10	3	92	1	6	550	56	755
	0	0	0	40	10	3	88	0	5	509	49	704
3 月	2	0	0	46	5	3	97	1	7	545	68	774
	0	0	0	44	5	3	90	1	5	502	59	709
4 月	1	0	0	40	7	5	77	2	8	480	62	682
	0	0	0	39	7	5	71	2	7	454	48	633
5 月	3	0	0	56	4	3	74	2	9	490	63	704
	3	0	0	52	4	3	68	2	9	463	54	658
6 月	3	0	0	67	10	8	92	0	5	476	72	733
	1	0	0	64	10	9	85	0	3	453	62	687
7 月	2	0	0	48	8	4	99	0	18	740	80	999
	0	0	0	48	8	4	90	0	15	681	66	912
8 月	4	0	1	45	2	11	73	1	3	651	70	861
	0	0	0	51	2	11	71	1	2	600	56	794
9 月	1	0	0	45	7	7	69	0	7	551	62	749
	0	0	0	48	7	6	63	0	5	533	50	712
10 月	2	0	0	39	8	14	76	0	1	488	66	694
	0	0	0	43	8	13	72	0	0	466	55	657
11 月	3	1	0	34	11	4	103	0	5	453	57	671
	0	1	0	33	10	4	98	0	4	430	45	625
12 月	2	0	0	53	7	5	125	0	2	707	76	977
	0	0	0	52	7	5	117	0	2	649	64	896
合 計	27	1	1	553	86	73	1,081	8	80	6,766	825	9,501
	5	1	0	556	85	72	1,008	6	62	6,315	686	8,796

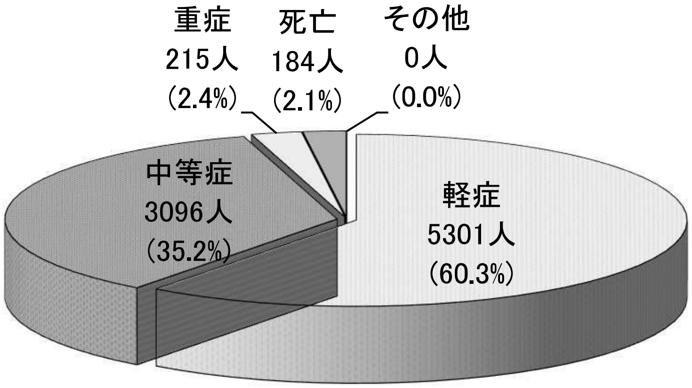
曜日別救急出動件数



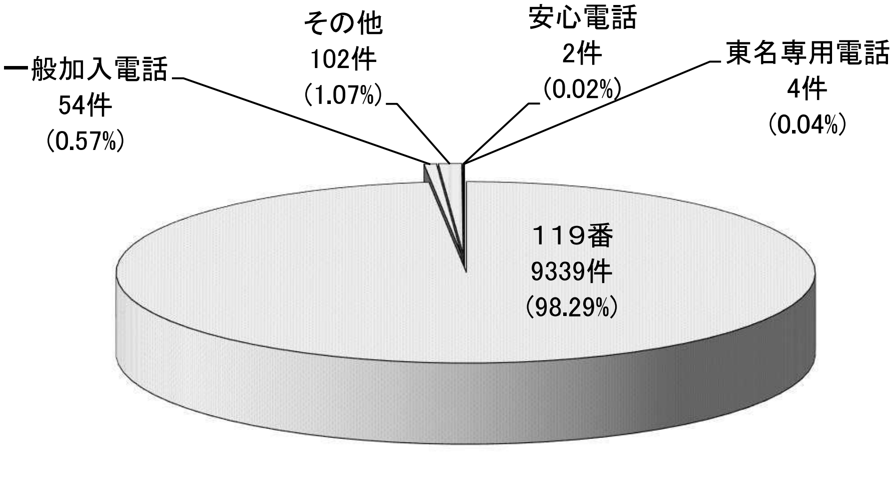
年齢区分別搬送人員

	火 災	自 然	水 難	交 通	労 災	運 動	一 般	加 害	自 損	急 病	その他	計
新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6	9
乳幼児	2	0	0	11	0	1	68	0	0	290	12	384
少 年	1	0	0	84	0	56	30	0	6	197	21	395
成 人	1	0	0	296	66	13	137	3	48	1,623	159	2,346
高齢者	1	1	0	165	19	2	773	3	8	4,202	488	5,662
合 計	5	1	0	556	85	72	1,008	6	62	6,315	686	8,796

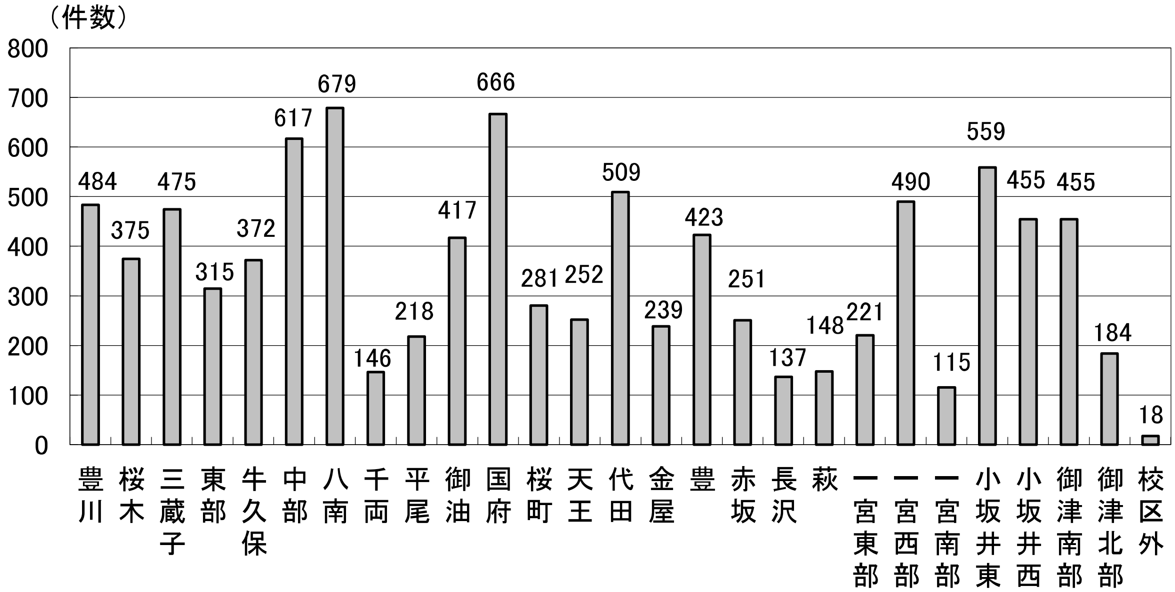
傷病程度別搬送人員



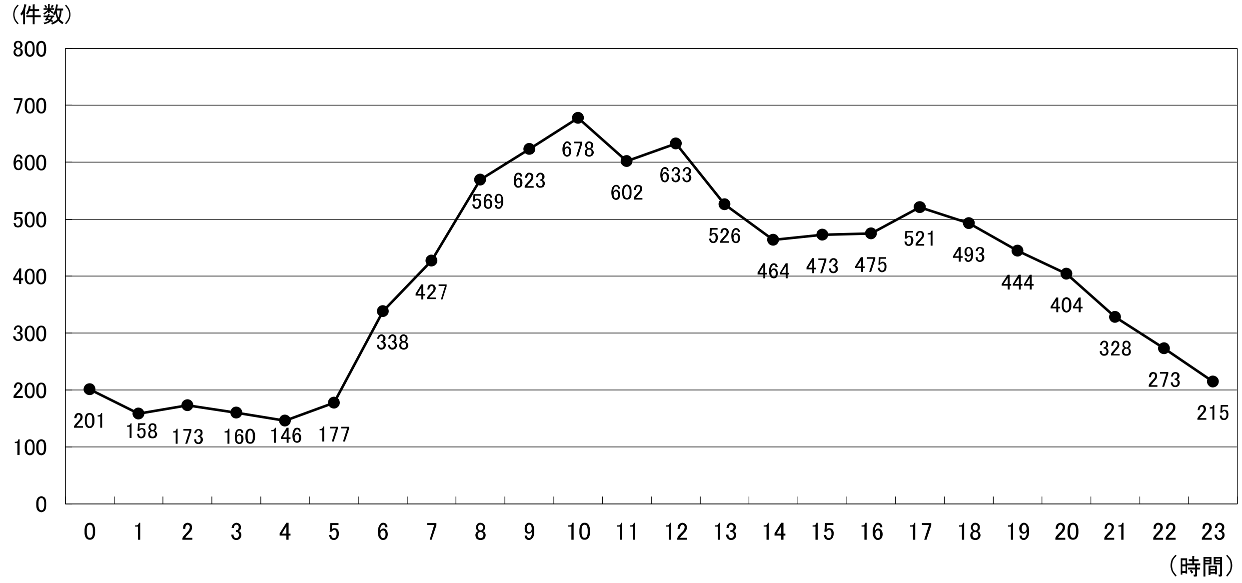
覚知別救急出動件数



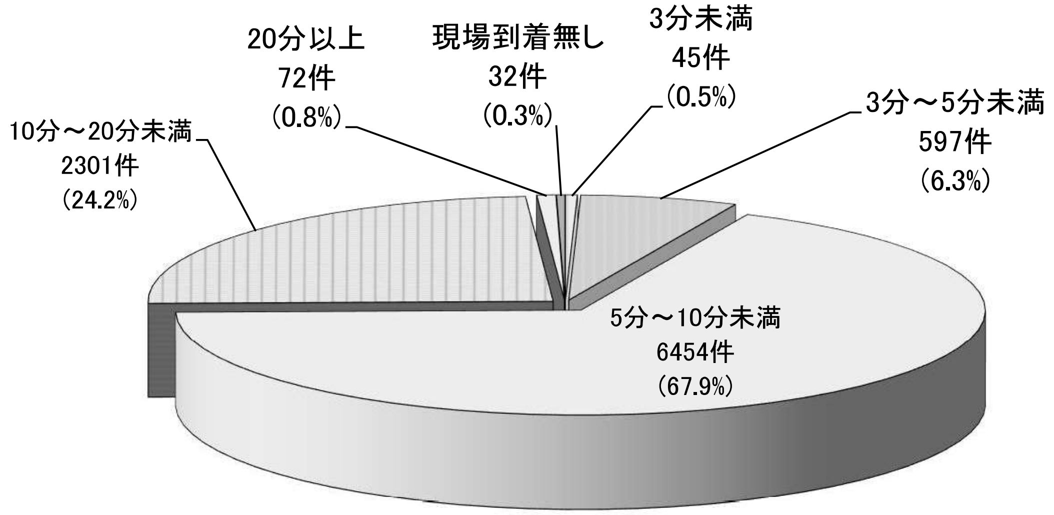
校区別救急出動件数



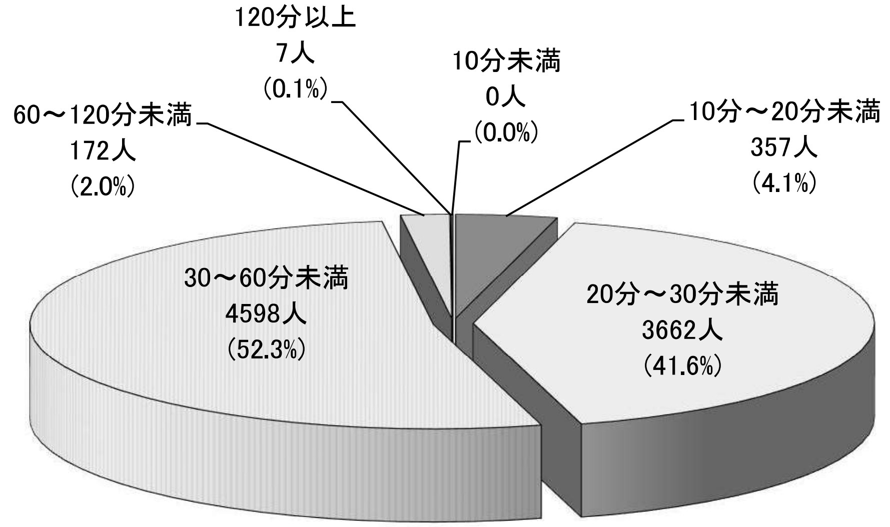
時間別救急事故発生件数



現場到着所要時間別出動件数の状況



収容所要時間別搬送人員の状況

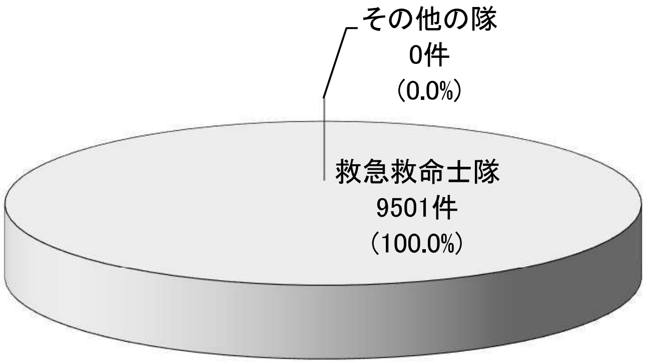


救急隊員による応急処置の状況

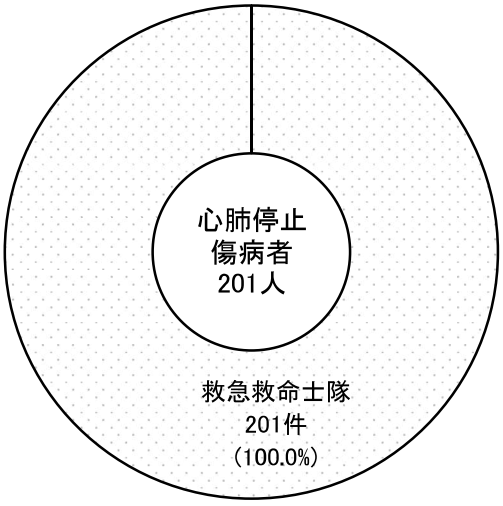
事故種別	急　病	交 通 事 故	一 般 負 傷	そ の 他	合　計
応急処置対象 搬送人員	6,314	555	1,004	915	8,788
除細動	22	0	0	0	22
静脈路確保(心肺停止)	42	0	5	1	48
静脈路確保(ショック)	18	2	0	1	21
静脈路確保(ブドウ糖)	7	0	0	0	7
薬剤投与(アドレナリン)	42	0	5	1	48
薬剤投与(ブドウ糖)	7	0	0	0	7
薬剤投与(エピペン)	0	0	0	0	0
血糖値測定	35	1	0	0	36
気道確保	286	7	16	19	328
うち経鼻エアウェイ	8	0	0	0	8
うち喉頭鏡	0	0	1	0	1
うちラリンゲアルマスク	142	2	5	7	156
うち気管挿管	0	0	2	0	2
人工呼吸	2	0	1	0	3
胸骨圧迫	0	0	0	0	0
心肺蘇生	174	5	11	9	199
血圧測定	5,940	538	935	887	8,300
聴　診	806	57	53	71	987
血中酸素飽和度測定	6,149	549	991	907	8,596
心電図測定	3,384	85	104	297	3,870
在宅療法継続	457	4	44	273	778
酸素吸入	1,276	55	40	226	1,597
止　血	46	40	121	32	239
固　定	40	208	79	44	371
被　覆	104	115	274	50	543
保　温	109	22	12	16	159
その他処置	6,268	534	995	889	8,686
合　計	25,214	2,222	3,686	3,723	34,845

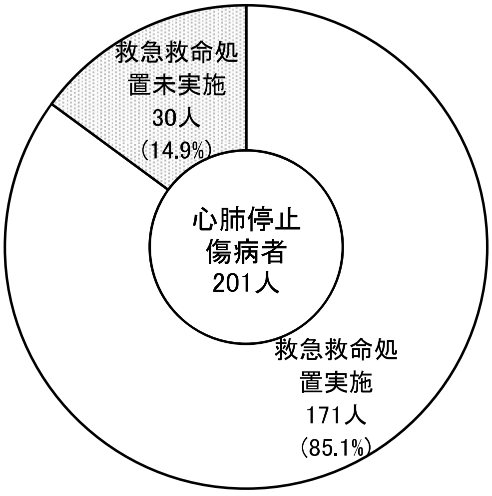
※複数の処置を行うこともあるため搬送人員とは一致しない

全出動件数に占める救急救命士の出動件数

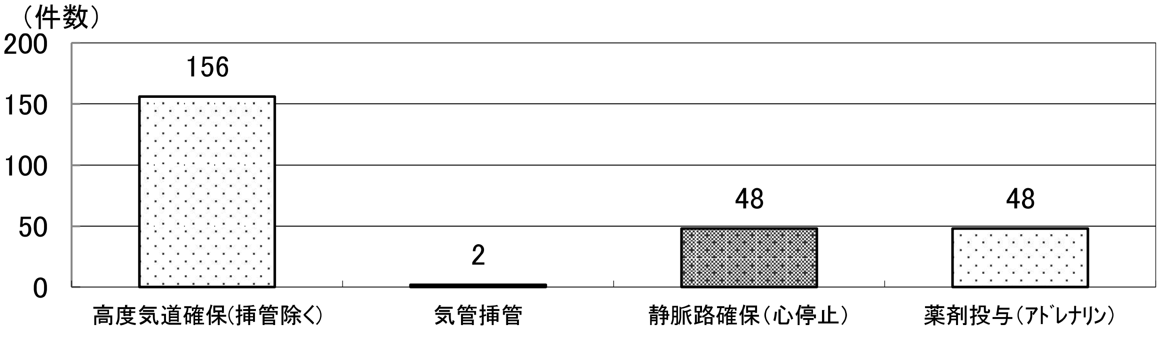


心肺機能停止傷病者に対する救急救命士隊出動件数と医師の具体的指示により行う救急救命処置(特定行為)実施率





医師の具体的指示により行った心肺機能停止傷病者に対する救急救命処置(特定行為)別数　※(重複処置含む)



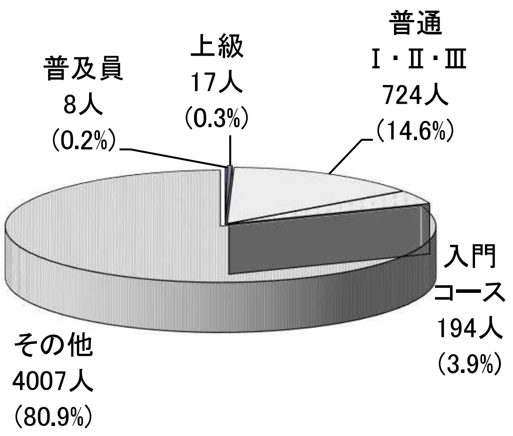
応急手当普及啓発活動

講 習 名	内　　　　容	時　　間	修了証等の発行
普及員	応急手当の基礎実技・指導要領 基礎医学・資機材取り扱い	24時間	認定証の発行
上 級	心肺蘇生法（成人・小児・乳児）、止血法 傷病者管理法、外傷の手当、搬送法	8.0時間	修了証の発行
普 通Ⅰ	心肺蘇生法（成人）、止血法	3.0時間	修了証の発行
普 通Ⅱ	心肺蘇生法（成人）、止血法	4.0時間	修了証の発行
普 通Ⅲ	心肺蘇生法（小児・乳児・新生児）、止血法	3.0時間	修了証の発行
入門コース	心肺蘇生法（成人）、止血法	1.5時間	参加証の発行
その他	上記以外の内容	要相談	な　し

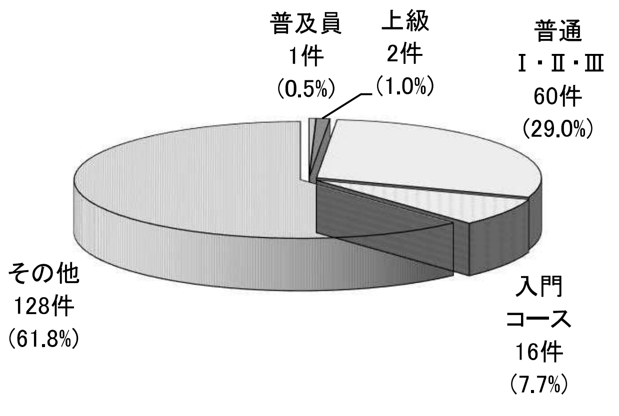
講習別件数及び人数

		普及員講習	上級救命講習	普通Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ救命講習	入門コース	その他救命講習	計
豊川市	件 数	1	2	60	16	128	207
	人 数	8	17	724	194	4,007	4,950

講習別受講者人数



講習別件数

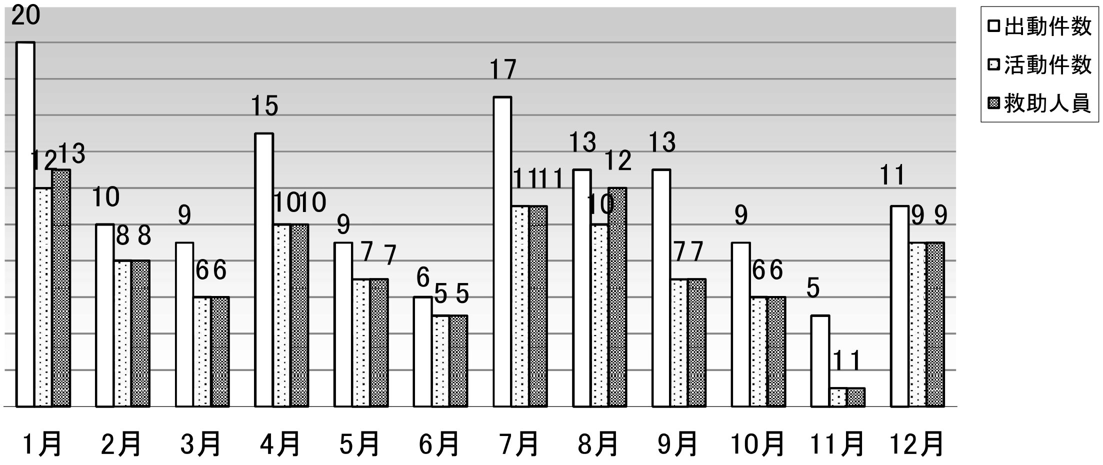


救　助　統　計

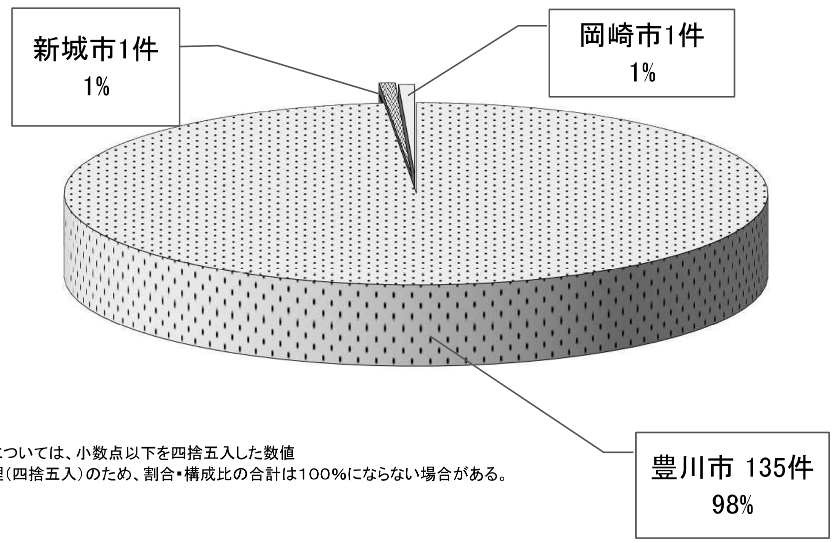
事故種別救助出動状況

	火災		交通	水難	自然	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
	建物	建物外	事故	事故	災害	事故	事故	酸欠	事故	の事故	
出動	0	0	37	0	0	1	54	0	0	45	137
活動	0	0	31	0	0	0	45	0	0	16	92
救助人員	0	0	34	0	0	0	45	0	0	16	95

月別出動件数・活動件数及び救助人員

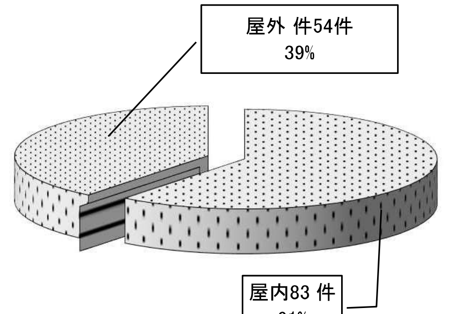


地区別救助件数

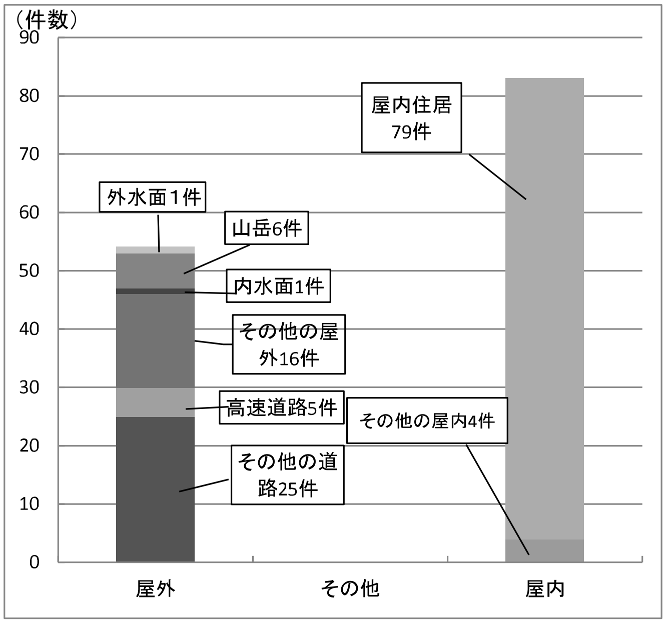


(備考)
1 構成比については、小数点以下を四捨五入した数値
2 端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

発生場所別救助件数



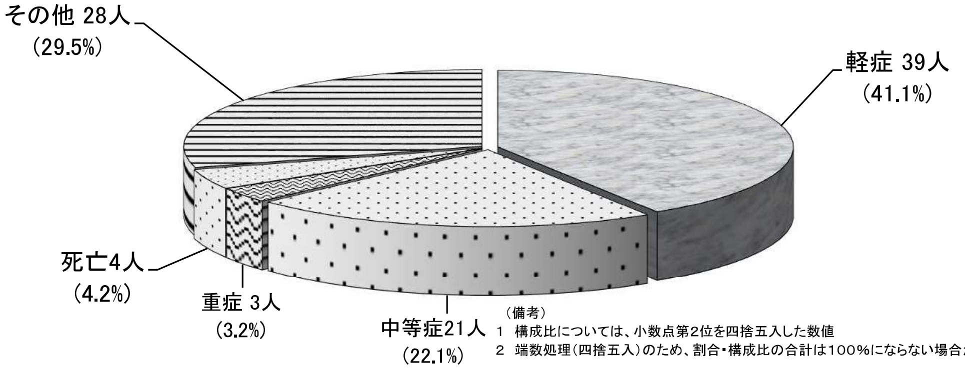
（備考）
1　構成比については、小数点以下を四捨五入した数値



傷病程度別救助人員

種別 / 傷病程度	火災 建物	火災 建物外	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス酸欠	破裂事故	その他の事故	計
死　亡	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
重　症	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	3
中等症	0	0	6	0	0	0	13	0	0	2	21
軽　症	0	0	22	0	0	0	10	0	0	7	39
その他	0	0	0	0	0	0	22	0	0	6	28
合　計	0	0	34	0	0	0	45	0	0	16	95

※傷病程度「その他」とは、救助後医療機関等への搬送が無く、傷病程度がつかなかったもの。



（備考）
1　構成比については、小数点第2位を四捨五入した数値
2　端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

通信・気象統計

固定電話　119番受信状況（第2通報等を含む）

（件）

区分＼月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和6年中		160	156	186	187	181	176	216	170	187	162	141	195	2,117
内訳	火災	0	0	0	0	0	2	6	0	0	0	2	0	10
	救急	127	107	121	114	103	113	146	114	105	84	84	123	1,341
	救助	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	その他の災害	3	0	0	7	2	1	4	6	11	3	4	2	43
	いたずら	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
	問い合わせ	2	5	8	2	3	9	12	9	6	7	5	5	73
	間違い	7	4	9	11	4	9	8	9	13	7	7	7	95
	試験・訓練	19	40	45	50	66	38	36	29	51	61	37	57	529
	その他	1	0	3	3	3	3	3	2	1	0	2	0	21

携帯電話　119番受信状況（第2通報等を含む）

（件）

区分＼月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和6年中		598	519	555	462	510	547	770	724	566	598	520	743	7,112
内訳	火災	4	5	11	3	21	13	7	15	2	1	6	13	101
	救急	477	397	420	323	384	403	547	493	429	394	397	583	5,247
	救助	13	10	10	17	8	7	12	11	9	8	3	8	116
	その他の災害	7	9	9	7	2	11	5	16	10	6	7	14	103
	いたずら	1	0	2	0	0	0	13	46	10	34	0	0	106
	問い合わせ	17	26	13	18	15	19	22	19	17	18	13	24	221
	間違い	62	65	73	82	63	78	155	115	76	120	80	83	1,052
	試験・訓練	6	0	10	1	8	7	4	0	5	6	11	9	67
	その他	11	7	7	11	9	9	5	9	8	11	3	9	99

IP電話　119番受信状況（第2通報等を含む）

（件）

区分＼月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和6年中		346	280	264	257	236	243	318	286	231	265	226	323	3,275
内訳	火災	1	0	1	1	4	3	0	2	0	2	1	3	18
	救急	308	262	241	230	207	217	296	262	203	232	197	284	2,939
	救助	3	0	1	1	3	1	1	1	1	1	1	0	14
	その他の災害	0	0	0	3	0	1	1	2	1	1	1	4	14
	いたずら	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	問い合わせ	7	1	2	1	2	1	3	7	3	3	6	7	43
	間違い	11	5	6	7	4	2	8	7	6	5	8	4	73
	試験・訓練	11	7	12	10	13	18	4	4	16	21	12	19	147
	その他	4	5	1	4	3	0	5	1	1	0	0	2	26

緊急通報システム受信状況

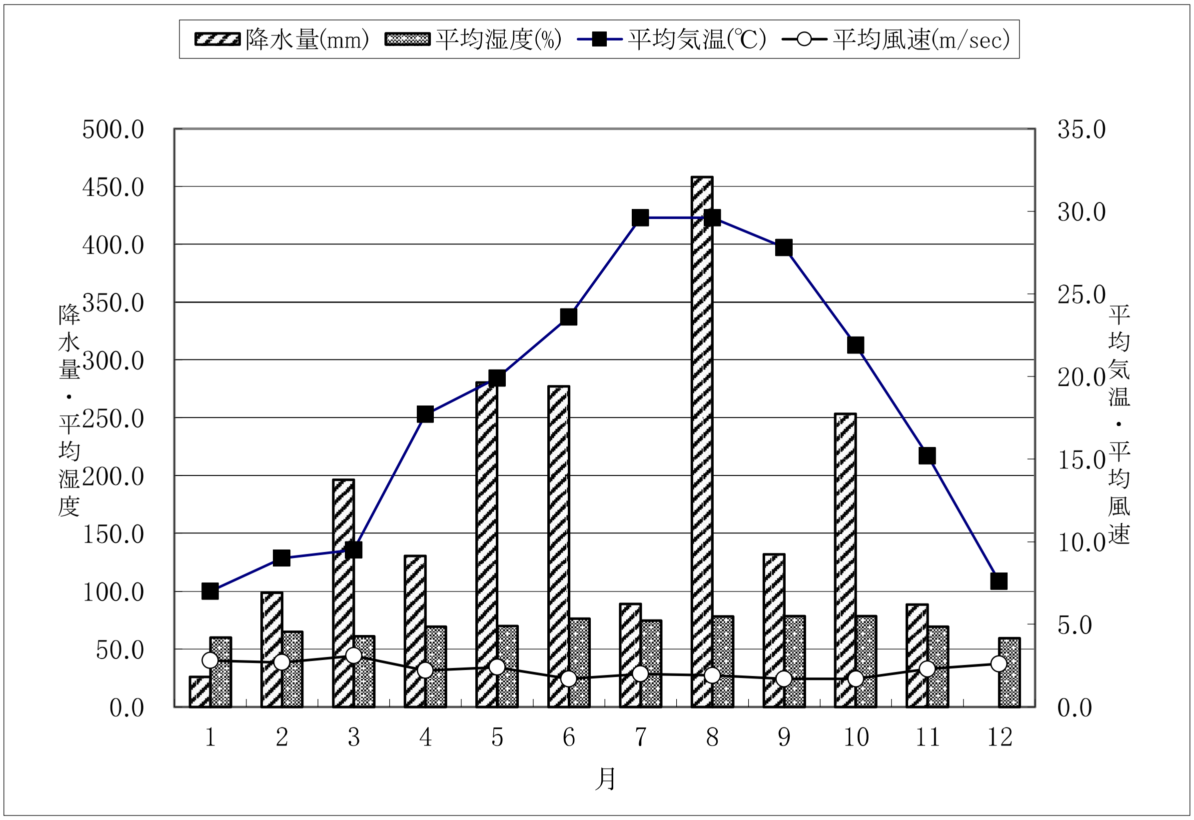
（件）

区分＼月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和6年中	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
救急搬送	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
救急不搬送	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

気象観測

観測地点:本署

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計 平均
天候 15時	快晴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	晴	22	15	16	12	16	14	19	19	22	14	17	25	211
	曇	5	10	7	14	11	13	9	8	6	12	10	6	111
	雨	3	4	8	4	4	3	3	4	2	5	3	0	43
	雪	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
平均気温		7.0	9.0	9.5	17.7	19.9	23.6	29.6	29.6	27.8	21.9	15.2	7.6	18.2
最高気温		16.0	22.5	24.1	27.0	30.7	31.2	38.8	38.3	37.1	32.9	25.3	19.3	
最低気温		-1.3	0.9	0.0	7.7	10.2	16.1	22.0	22.4	20.4	13.2	4.7	0.3	
平均湿度		60.1	64.9	61.0	69.4	70.0	76.1	74.6	78.2	78.4	78.6	69.4	59.5	70.0
最高湿度		96.1	98.3	97.5	97.5	98.0	98.0	98.0	98.0	97.7	97.2	98.0	87.5	
最低湿度		20.0	24.7	18.3	16.6	22.4	34.7	36.6	41.3	42.5	32.7	31.1	27.7	
時間最大雨量		4.0	8.0	25.0	13.5	16.5	22.0	14.0	34.5	28.5	22.0	22.5	0.0	
日最大雨量		14.0	25.0	67.0	42.5	67.0	91.0	35.5	134.0	41.0	54.0	37.0	0.0	
月積算雨量		26.0	98.5	196.5	130.5	280.5	277.0	89.0	458.0	132.0	253.5	88.5	0.0	
平均風速		2.8	2.7	3.1	2.2	2.4	1.7	2.0	1.9	1.7	1.7	2.3	2.6	2.3
平均風向		西北西	西北西	西北西	北東	北東	北東	西北西	北東	北東	北東	北西	西北西	北東



1日の降水量50mm以上と当日の気象状況

観測地点:本署

区分 / 月日	降水量 mm	平均風速 m/sec	温度 ℃ 平均	最高	最低	湿度 % 平均	最高	最低	警報及び注意報
3月12日	67.0	3.7	9.4	14.6	6.4	82.9	69.6	58.8	不明
5月13日	67.0	2.5	17.3	20.6	13.7	91.1	97.7	73.0	不明
6月18日	65.5	1.3	19.9	22.6	18.3	95.0	97.4	85.2	– 大雨・雷注意報
6月28日	91.0	1.5	23.3	26.3	20.6	96.0	97.7	88.6	– 大雨・雷・洪水注意報
8月26日	50.0	2.2	28.6	34.5	24.2	81.2	98.0	55.8	– 大雨・雷注意報
8月29日	57.5	1.9	24.3	24.9	23.6	95.9	97.5	92.4	大雨警報 大雨・雷注意報
8月31日	91.0	2.1	26.2	29.1	23.9	94.8	98.0	88.8	大雨警報 大雨・雷・洪水注意報
10月3日	54.0	2.1	24.1	26.6	21.9	88.8	97.5	71.9	– 大雨・雷・強風注意報

1時間の降水量30mm以上と当日の気象状況

観測地点:本署

区分 / 月日	時刻	降水量 mm	平均風速 m/sec	平均風向	最大風速 m/sec	最大時風向	温度 ℃	気圧 hpa	相対湿度 %
8月26日	1:20	31.5	1.2	南東	11.1	北東	25.4	1009.1	97.5
8月31日	8:50	34.5	1.8	南東	12.5	東南東	26.6	1001.8	97.7

消　防　団

消防団現勢

令和7年4月1日現在（単位：人）

区　分	団数	分団数	団員数
豊川市消防団	1	26	590

編成区分		団長	副団長（方面隊長）	分団長	副分団長	部長	班長	団員	支援団員	計
団本部		1	8							9
第一方面隊	豊川分団		（1）	1	1	1	2	17	3	25
	当古分団			1	1	1	2	15	5	25
	三蔵子分団			1	1	1	2	15	3	23
	三上分団			1	1	1	2	15	2	22
第二方面隊	牛久保分団		（1）	1	1	1	2	15	3	23
	下郷分団			1	1	1	2	15	1	21
	中条分団			1	1	1	2	10	1	16
第三方面隊	千両分団		（1）	1	1	1	2	15	1	21
	平尾分団			1	1	1	2	15	6	26
	諏訪分団			1	1	1	2	15	4	24
第四方面隊	国府分団		（1）	1	1	1	2	16	5	26
	御油分団			1	1	1	2	15	3	23
	桜町分団			1	1	1	2	15	4	24
第五方面隊	一宮第一分団		（1）	1	1	1	2	16	1	22
	一宮第二分団			1	1	1	2	15	0	20
	一宮第三分団			1	1	1	2	26	3	34
第六方面隊	赤坂分団		（1）	1	1	1	2	11	3	19
	長沢分団			1	1	1	2	11	4	20
	萩分団			1	1	1	2	15	1	21
第七方面隊	御津第一分団		（1）	1	1	1	2	9	1	15
	御津第二分団			1	1	1	2	20	7	32
	御津第三分団			1	1	1	2	14	0	19
第八方面隊	小坂井第一分団		（1）	1	1	1	2	18	5	28
	小坂井第二分団			1	1	1	2	11	2	18
	小坂井第三分団			1	1	1	2	13	1	19
	小坂井第四分団			1	1	1	2	8	2	15
計		1	8	26	26	26	52	380	71	590

消防団員年齢表

令和7年4月1日現在（単位：人）

区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	支援団員	計
18～20歳						1	5		6
21～25歳					1	3	35		39
26～30歳			3	2	3	14	38	1	61
31～35歳			9	5	8	10	79		111
36～40歳		1	7	11	7	15	130	5	176
41～45歳		2	4	4	3	7	62	27	109
46～50歳	1	4	3	4	4		27	18	61
51～55歳		1				1	4	12	18
56歳以上						1		8	9
計	1	8	26	26	26	52	380	71	590
平均	48	46.1	36.8	38.6	36.5	34.4	35.9	47.2	40.4

消防団員勤続年数

令和7年4月1日現在（単位：人）

区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	支援団員	計
5年未満			3	2	4	17	110	7	143
5～10年未満			13	10	11	19	82	5	140
10～15年未満		3	3	7	4	10	99	18	144
15～20年未満	1	3	4	5	6	6	72	25	122
20～25年未満		1	3	2	1		14	9	30
25～30年未満		1					3	6	10
30年以上								1	1
計	1	8	26	26	26	52	380	71	590
平均	14	17.5	10.7	11.5	10.3	7.9	9.9	12.4	11.7

消防団員報酬

令和7年4月1日現在（単位：円）

区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
金額	170,000	143,000	67,000	57,000	42,000	40,000	38,000

消防団員退職報償金

令和7年4月1日現在(単位:円)

階級	勤続年数					
	5年以上 6年未満	6年以上 7年未満	7年以上 8年未満	8年以上 9年未満	9年以上 10年未満	10年以上 11年未満
団　長	239,000	260,000	281,000	302,000	323,000	344,000
副団長	229,000	249,000	269,000	289,000	309,000	329,000
分団長	219,000	238,000	258,000	278,000	298,000	318,000
副分団長	214,000	231,000	249,000	267,000	285,000	303,000
部長及び班長	204,000	219,000	235,000	251,000	267,000	283,000
団　員	200,000	212,000	225,000	238,000	251,000	264,000
階級	11年以上 12年未満	12年以上 13年未満	13年以上 14年未満	14年以上 15年未満	15年以上 16年未満	16年以上 17年未満
団　長	367,000	390,000	413,000	436,000	459,000	486,000
副団長	349,000	369,000	389,000	409,000	429,000	450,000
分団長	337,000	356,000	375,000	394,000	413,000	433,000
副分団長	320,000	337,000	354,000	371,000	388,000	406,000
部長及び班長	298,000	313,000	328,000	343,000	358,000	374,000
団　員	278,000	292,000	306,000	320,000	334,000	349,000
階級	17年以上 18年未満	18年以上 19年未満	19年以上 20年未満	20年以上 21年未満	21年以上 22年未満	22年以上 23年未満
団　長	513,000	540,000	567,000	594,000	631,000	668,000
副団長	471,000	492,000	513,000	534,000	569,000	604,000
分団長	453,000	473,000	493,000	513,000	542,000	571,000
副分団長	424,000	442,000	460,000	478,000	507,000	536,000
部長及び班長	390,000	406,000	422,000	438,000	463,000	488,000
団　員	364,000	379,000	394,000	409,000	431,000	453,000
階級	23年以上 24年未満	24年以上 25年未満	25年以上 26年未満	26年以上 27年未満	27年以上 28年未満	28年以上 29年未満
団　長	705,000	742,000	779,000	819,000	859,000	899,000
副団長	639,000	674,000	709,000	749,000	789,000	829,000
分団長	600,000	629,000	659,000	697,000	735,000	773,000
副分団長	565,000	594,000	624,000	661,000	698,000	735,000
部長及び班長	513,000	538,000	564,000	598,000	632,000	666,000
団　員	475,000	497,000	519,000	553,000	587,000	621,000
階級	29年以上 30年未満	30年以上				
団　長	939,000	979,000				
副団長	869,000	909,000				
分団長	811,000	849,000				
副分団長	772,000	809,000				
部長及び班長	700,000	734,000				
団　員	655,000	689,000				

消防団詰所の概要

令和7年4月1日現在

区　分	構　造	敷地面積（㎡）	建築面積（㎡）	建築延面積（㎡）	竣工年月日
豊川分団	鉄骨平家建	367.78	73.17	73.17	S58.12.20
当古分団	鉄骨平家建	225.10	60.00	60.00	H12.6.23
三蔵子分団	鉄骨2階建	92.65	26.88	53.46	H2.2.28
三上分団	鉄骨平家建	154.53	53.46	53.46	S56.10.31
牛久保分団	鉄骨平家建	312.92	76.95	76.95	H4.3.25
下郷分団	鉄骨平家建	201.65	52.24	52.24	H5.9.10
中条分団	鉄骨2階建	93.21	26.73	53.46	S62.8.25
千両分団	鉄骨平家建	164.02	60.00	60.00	S63.10.31
平尾分団	鉄骨平家建	228.74	60.01	60.01	S61.12.17
諏訪分団	鉄骨平家建	165.00	76.95	76.95	H2.12.20
国府分団	鉄骨平家建	869.76	73.17	73.17	S61.3.10
御油分団	鉄骨平家建	240.82	76.95	76.95	H8.3.14
桜町分団	鉄骨平家建	201.00	60.00	60.00	H10.3.13
一宮第1分団	鉄骨2階建	99.70	45.00	84.00	H31.3.16
一宮第2分団	鉄骨2階建	480.31	55.94	98.36	R2.2.29
一宮第3分団	鉄骨2階建	310.50	52.00	97.50	R3.2.26
赤坂分団	鉄骨平家建	117.45	61.96	61.96	S61.2.1
長沢分団	木造平家建	158.47	69.63	69.63	S49.8.1
萩分団	鉄骨平家建	314.44	63.76	63.76	H1.3.23
御津第1分団	鉄骨2階建	132.18	48.60	97.20	H1.12.7
御津第2分団	鉄骨2階建	156.25	48.96	97.92	S62.3.10

区　分	構　造	敷地面積（㎡）	建築面積（㎡）	建築延面積（㎡）	竣工年月日
御津第3分団	鉄骨2階建	298.20	45.00	84.00	H31.2.23
小坂井第1分団	RC2階建	676.40	172.23	251.73	S60.3.27
小坂井第2分団	鉄骨2階建	179.79	23.28	46.56	S55.12.27
小坂井第3分団	鉄骨2階建	155.35	23.88	47.76	S56.12.23
小坂井第4分団	鉄骨2階建	84.00	22.68	45.36	H11.3.25

消防団火災出動状況

上段:回数　下段:人数

区分＼月	団本部	豊川分団	当古分団	三蔵子分団	三上分団	牛久保分団	下郷分団	中条分団	千両分団	平尾分団	諏訪分団	国府分団	御油分団	桜町分団	一宮第一分団	一宮第二分団	一宮第三分団	赤坂分団	長沢分団	萩分団	御津第一分団	御津第二分団	御津第三分団	小坂井第一分団	小坂井第二分団	小坂井第三分団	小坂井第四分団	合計
1月	2	1	1		1	1		1			1																	8
人数	13	12	9		10	4		3			7																	58
2月	2					1			1		1			1	1		1											8
人数	12					7			17		9			8	8		14											75
3月	1														1	1	1											4
人数	5														4	9	10											28
4月	1														1	1	1											4
人数	6														8	7	7											28
5月	3					1		1			1		2					2	2									12
人数	17					11		9			9		17					22	17									102
6月	3			2					1	1	1			1	1	1	1							1	1		1	15
人数	23			34					15	14	13			9	10	8	17							6	13		4	166
7月																												0
人数																												0
8月	5	2	1	2	2			1	1	1	1				1	1	2				1	1	1					23
人数	29	27	9	29	21			6	11	9	11				11	6	28				2	11	5					215
9月	1				1										1		1											4
人数	3				4										3		9											19
10月	2									1		2	2	1							1							9
人数	11									5		24	8	5							7							60
11月	1	1		1													1											4
人数	6	10		15													15											46
12月	2				1							1	1			1	1	1										8
人数	12				9							14	9			8	9	10										71
回数計	23	4	2	5	5	3	0	3	3	3	5	3	5	3	6	5	9	3	2	0	1	1	1	1	1	0	1	98
人数計	137	49	18	78	44	22	0	18	43	28	49	38	34	22	44	38	109	32	17	0	7	11	5	6	13	0	4	866

そ　の　他

消防音楽隊

令和７年４月１日現在

音楽隊の編成

区　　分	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	計
隊　　長			1			1
副隊長			2			2
隊　　員		2	5	2	2	11
計		2	8	2	2	14

楽器

楽器名	数量	楽器名	数量
トランペット	5	コルネット	1
トロンボーン	4	ユーフォニアム	2
フレンチホルン	3	スーザフォン	1
チューバ	2	アルトサクソフォン	2
テナーサクソフォン	2	クラリネット	7
フルート	2	ピッコロ	1
バスドラム	2	スネアドラム	3
シンバル	2	グロッケン	1
ドラムセット	1	エレキベース	1

主な参加行事

令和６年度の演奏実績は、おいでん横丁、ふるさと満喫祭り、防火大会、出初式、消防フェスタ及び消防団観閲式の計６回。（すまいるウエルフェスタは参加予定であったが雨天中止）

令和6年度 あき地等に繁茂した雑草等の処理状況

令和6年度中

1 市内調査状況

	調査件数	面積（㎡）	刈取り指示	面積（㎡）
調査状況	18	23130.35㎡	22	23130.35㎡

民間防火防災組織結成状況

令和7年4月1日現在

区　分	結成年月日	結成団体数	構成会員数
豊川市防火安全協会	平成13年5月28日	地域会員　183 職域会員　291	53,704
豊川市自警団連絡協議会	昭和49年5月22日	22	493
豊川市少年消防クラブ	昭和42年9月1日	26	3,408
豊川市女性防火クラブ	昭和55年4月1日	1	21
豊川市幼年消防クラブ	昭和56年5月1日	45	2,091

２０２５年度　全国統一防火標語

急ぐ日も　足止め火を止め　準備よし

令和６年版消防年報

編集・発行

豊川市諏訪１丁目１番地
豊川市消防本部